

平成  
30年度

大分県地域リハビリテーション

# 活動報告書

大分県リハビリテーション支援センター

独立行政法人 地域医療機能推進機構

湯布院病院



# 目 次

○ご挨拶	1
○大分県における支援体制	
1. 大分県における地域リハビリテーション支援体制	2
・大分県リハビリテーション支援センター運営部運営規程	
2. 県下関係機関との連携	5
・三者会議運用規程、拡大運営会議運用規程、イメージ図	
○大分県リハビリテーション支援センター活動報告および地域リハビリテーション関連活動報告	
1. 平成30年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ	8
2. 平成30年度実施事業の詳細	9
3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告	14
4. おおいた食のリハビリテーション研究会活動報告	18
○大分県地域リハビリテーション広域支援センター活動報告	
・東部圏域 東国東地域	21
・東部圏域 別杵速見地域	22
・中部圏域 大分地域	23
・中部圏域 臼津地域	25
・南部圏域 佐伯地域	28
・豊肥圏域 大野地域	29
・豊肥圏域 竹田地域	30
・西部圏域 日田玖珠地域	31
・北部圏域 中津地域	33
・北部圏域 宇佐高田地域	34

○県内職能団体活動報告（五十音順）

・一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会	37
・公益社団法人 大分県栄養士会	39
・NPO法人 大分県介護支援専門員協会	41
・一般社団法人 大分県介護福祉士会	43
・公益社団法人 大分県看護協会	45
・公益社団法人 大分県言語聴覚士協会	47
・公益社団法人 大分県作業療法協会	49
・一般社団法人 大分県歯科医師会	52
・一般社団法人 大分県歯科衛生士会	54
・大分県視能訓練士会	56
・大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	58
・大分県地域リハビリテーション研究会	59
・一般社団法人 大分県病院協会	61
・公益社団法人 大分県放射線技師会	63
・公益社団法人 大分県薬剤師会	66
・公益社団法人 大分県理学療法士協会	67
・公益社団法人 大分県臨床検査技師会	69
・公益社団法人 大分県臨床工学技士会	71
・大分県臨床心理士会（大分県公認心理師協会）	74

連絡先一覧

1. 県リハセンター、広域支援センター所在地・連絡先	76
2. 県内職能団体連絡先	77



## ご挨拶

大分県リハビリテーション支援センター長 根 橋 良 雄

大分県福祉保健部健康づくり支援課・高齢者福祉課、広域支援センター、各職能団体の皆様、平素より大分県リハビリテーション支援センター（県リハ支援センター）の活動にご理解・ご支援・ご尽力いただき、誠に有難うございます。この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

2018年度（平成30年度）県リハ支援センターは、地域リハビリテーション活動の推進支援、地域包括ケアシステムの構築推進、災害時リハビリテーション活動推進等を重点活動としてすすめてまいりました。

2018年度も各広域支援センターにおいて、研修会をはじめ活発な活動がおこなわれました。こうして地域リハビリテーション活動推進、地域包括ケアシステム構築が進んでいることは全国的に見ても大分県が誇れることであります。またこれらの事業は大分県・担当部署・職員のご理解・ご尽力があっはじめて成り立っていることをあらためて表明し、感謝をいたします。

大分県地域リハビリテーション研究会との共催による第15回合同研修会は、7月15日に介護予防の未来～住民主体で支え合う地域づくりに向けて～をメインテーマにおこなわれました。

災害時リハビリテーション活動推進に関しては、平成30年7月豪雨による災害に対し、県リハ支援センターに事務局を置く大分JRAT（大分災害リハビリテーション推進協議会）がスタッフを倉敷市に派遣し活動を行いました。また同年8月4日に大分県でおこなわれた平成30年度大規模地震時医療活動訓練に、臼杵市で多職種連携のもとに参加しました。参加者には大変意義深い有益な活動となり、また様々な立場の人達に大分JRATの存在・役割をアピールする機会にもなりました。

おわりに行政、広域支援センター、職能団体の皆様がますますご活躍されることを祈念申し上げます。そして県リハ支援センターの活動に今後ともご支援いただきますよう、お願い申し上げます。

**J C H O湯布院病院**  
**大分県リハビリテーション支援センター運営部**  
**運 営 規 程**

(目 的)

第1条 大分県リハビリテーション支援センター（以下 県リハセンター）は、大分県、広域支援センター、諸職能団体と緊密に連携をとりながら、障害のある人や高齢者、さらには県民一人一人が地域で安心して生き生きとした生活が送れるように、地域リハビリテーション活動の体制整備と充実を図ること、また、災害時のリハビリテーション支援体制づくりにも取り組むこと、を目的に設置する。

(組 織)

第2条 県リハセンター長（以下 センター長）は県リハセンターの事業全般を統括・指揮する。

2 県リハセンターの円滑な事業運営を図るために、県リハセンターに企画調整室、県リハセンター運営部（以下 運営部）を設置する。また、大分災害リハビリテーション推進協議会（以下 大分 J R A T）の事務局として大分 J R A T事務局を設置する。

3 地域の介護予防・日常生活支援総合事業に協力するため介護予防推進活動班を別に設け、県リハ事業と密接な連携を図る。

(企画調整室)

第3条 企画調整室は医局、看護部、リハビリテーション科、地域連携室、事務部からセンター長が指名する職員をもって構成し、事業計画の策定、事業内容の企画・調整、調査・研究等を担当する。計画の策定にあたっては、大分県、大分県地域リハビリテーション研究会、広域支援センター、必要に応じて関連する諸団体との連絡、連携を図る。

(運営部)

第4条 運営部はセンター長が指名する職員をもって構成し、企画調整室で策定された事業計画の実施にあたるほか、県リハセンターの窓口として、関係機関、団体との連絡、調整等を行う。また、県リハセンターの経理を担当する。

2 センター長は運営部に運営部長を任命し、運営部長は運営部を管理、運営する。

3 センター長は必要に応じ、運営部に副運営部長、運営部長補佐、センター事務長を任命できる。

4 運営部には会議を担当する会議企画班、研修会を担当する研修班、J R A Tの支援を行う災害リハビリ支援班、関係機関、団体との連絡、調整及び県リハセンターの経理を担当する庶務班を置く。

(大分 J R A T事務局)

第5条 大分 J R A T事務局は、災害リハビリテーションの教育、普及、啓発および災害リハビリテーションコーディネーターや支援チームの組織化、訓練、人材育成、D M A Tや J M A T等との連携、そして大分県および全国規模の災害時における直接的支援活動等の事務局業務を担う。

2 センター長は大分 J R A T事務局に事務局長を任命し、事務局長は大分 J R A T事務局を管理、運営する。

3 センター長は必要に応じ、大分 J R A T事務局に事務局長補佐を任命できる。

(協力部門)

第6条 センターに所属する医師、看護師、薬剤師、リハビリテーションセラピスト、医療福祉相談員、

管理栄養士、検査技師、臨床心理士、歯科衛生士、介護福祉士、事務員等は、センター事業の円滑な実施が図られるよう積極的な事業協力を行う。

(任期)

第7条 企画調整室、運営部、大分JRA T事務局職員の任期は原則として1年とする。ただし、任期満了の1ヵ月前までにセンター長もしくは職員から何らかの意思表示がないときは、任期を1年毎に延長するものとする。

(運営委員会)

第8条 県リハセンターの円滑な運営を図るため、運営委員会を置く。

- 2 運営委員会はセンター長、企画調整室、運営部で構成され、運営部長を議長とする。
- 3 運営部長不在時には副運営部長もしくは運営部長補佐が議長を代行する。
- 4 議長は原則として毎月1回定例の運営委員会を開催し、次の事項を審議する。
  - ア 事業計画、事業予算の検討、策定
  - イ 事業内容の検討、実施
  - ウ 研修計画の検討、実施
  - エ 関係機関、団体との連絡調整
  - オ 事業報告、事業決算
  - カ その他必要な事項
- 5 議長は必要に応じて臨時に運営委員会を開催できるものとする。
- 6 議長は必要に応じて運営委員会に、協力部門等に所属する職員の出席を要請し、意見を聞くことができるものとする。

(三者会議)

第9条 県下における地域リハビリテーション支援体制事業を、大分県・県リハセンターおよび広域支援センターの三者が協調し地域の実情を踏まえバランス良く展開するための協議機関として大分県・県リハセンター・広域支援センター合同会議（略称：三者会議）を設置する。

- 2 会議の構成は以下の通りとする。
  - 1) 大分県健康づくり支援課：代表者若干名
  - 2) 県リハセンター：センター長、運営部長、事務長、企画調整室、運営部員
  - 3) 広域支援センター：各センター代表者1名（希望があれば同伴者2名以内可能とする）
- 3 会議の開催は原則年2回とする。
- 4 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター長が務め、副議長は県リハセンター運営部長が務める。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長不在時はその職務を代行する。

(拡大運営会議)

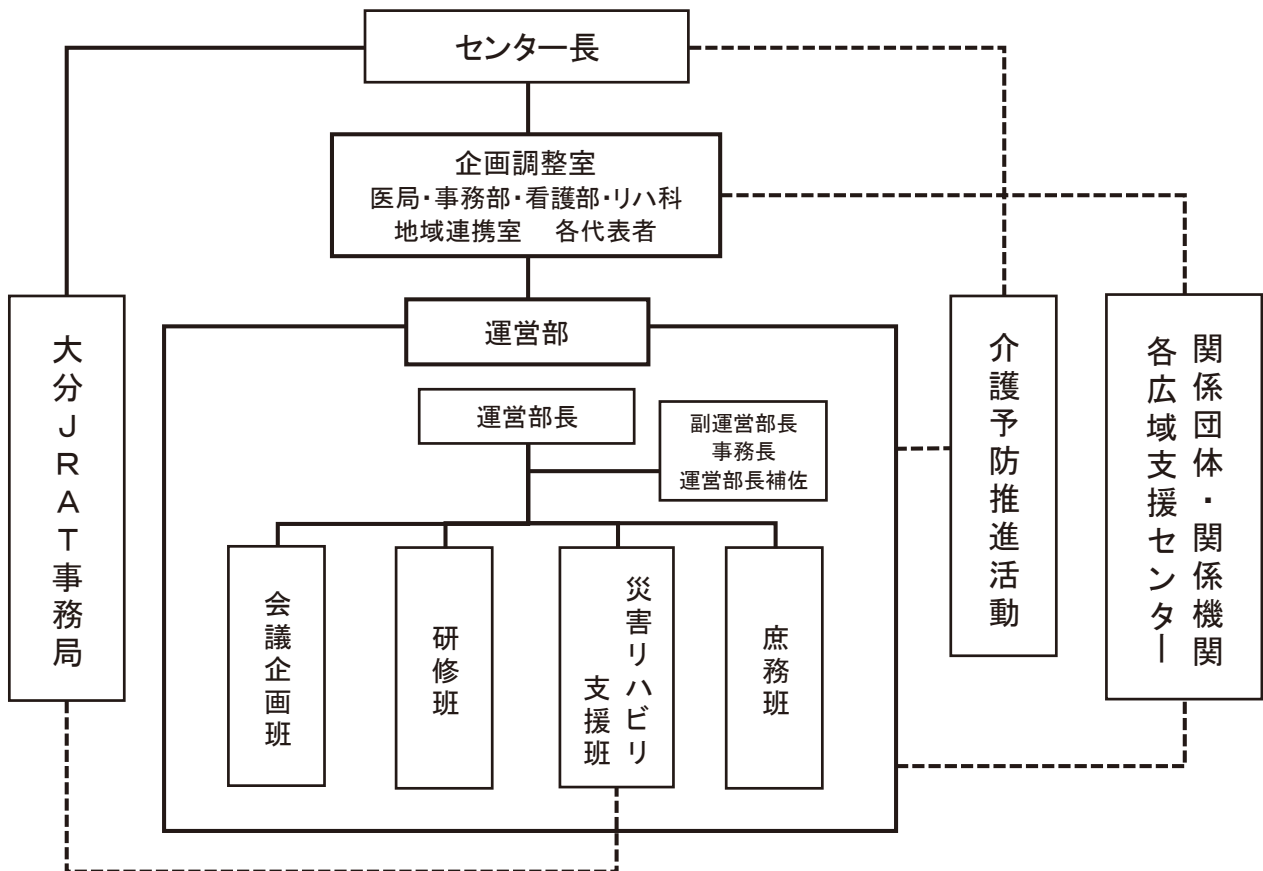
第10条 県リハセンターの事業立案に向けた情報収集、並びに事業の円滑な運営に向け、県内の保健・医療・福祉分野における専門職能団体間の緊密な協力と調整を図ることを目的に、県リハセンター拡大運営会議（略称：拡大運営会議）を設置する。

- 2 会議の構成は以下の通りとする。
  - 1) 大分県健康づくり支援課：代表者若干名
  - 2) 県リハセンター：センター長、運営部長、事務長、企画調整室、運営部員

- 3) 必要と認める各種団体の代表者（各種団体については別に定める）。
- 3 会議の開催は原則年1回とする。
- 4 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター長が務め、副議長は県リハセンター運営部長が務める。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長不在時はその職務を代行する。

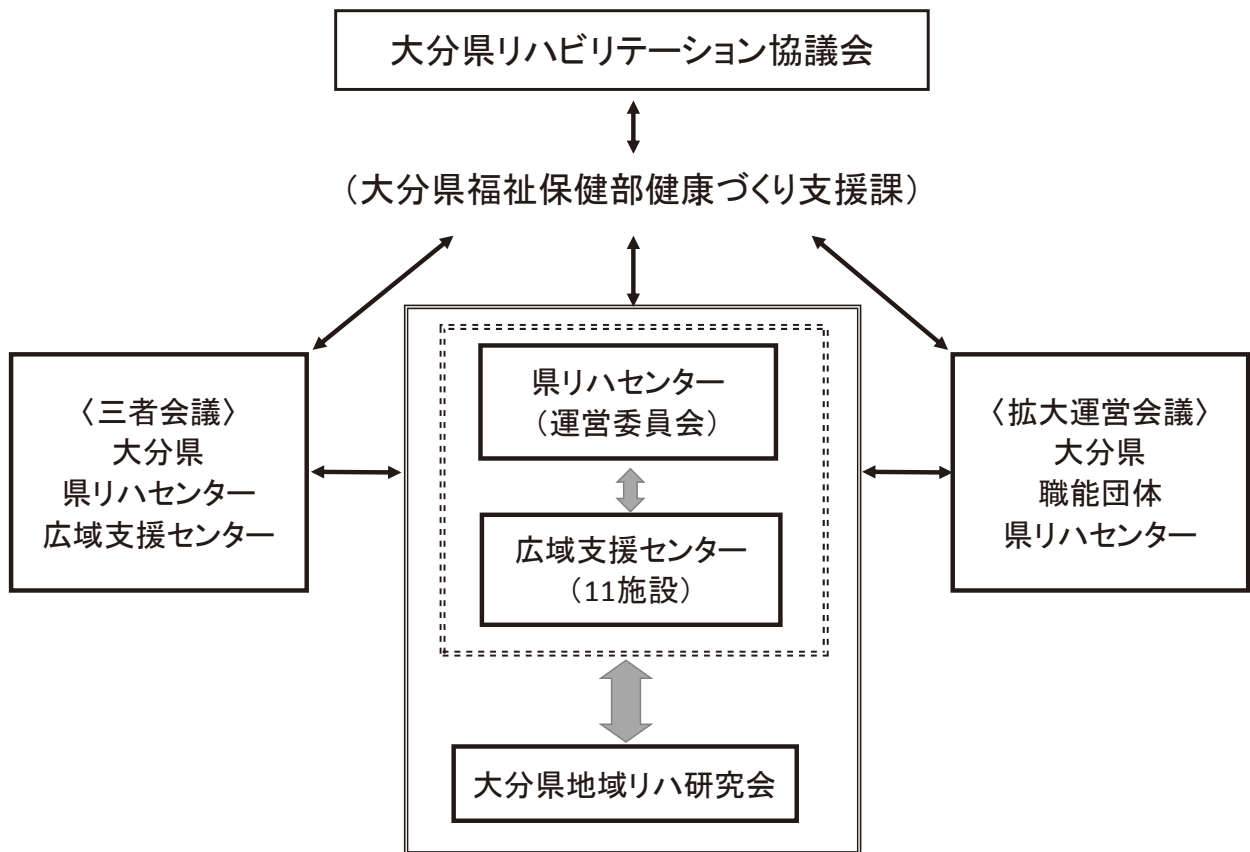
- 附 則 この運営規程は平成15年4月1日から施行する。
- 附 則 この運営規程は平成15年6月4日改訂し施行する。
- 附 則 この運営規程は平成15年11月12日改訂し施行する。
- 附 則 この運営規程は平成26年4月1日に病院経営母体の移行に伴う名称の変更を行なう。
- 附 則 この運営規程は平成28年4月1日より大分県リハビリテーション支援センター業務の委託料一元化にともない、三者会議の位置づけの変更を行う。
- 附 則 この運営規程は平成30年2月27日大分県リハビリテーション協議会にて承認され4月1日改訂し施行する。

## 大分県リハビリテーション支援センター 組織図





## 三者会議・拡大運営会議の位置づけ



### 広域支援センター（11施設） (平成31年4月1日現在)

国東市民病院  
 別府リハビリテーションセンター  
 井野辺病院  
 大分リハビリテーション病院  
 臼杵市医師会立コスモス病院  
 長門記念病院  
 帰巖会みえ病院  
 大久保病院  
 済生会日田病院  
 川鳶整形外科病院  
 佐藤第一病院

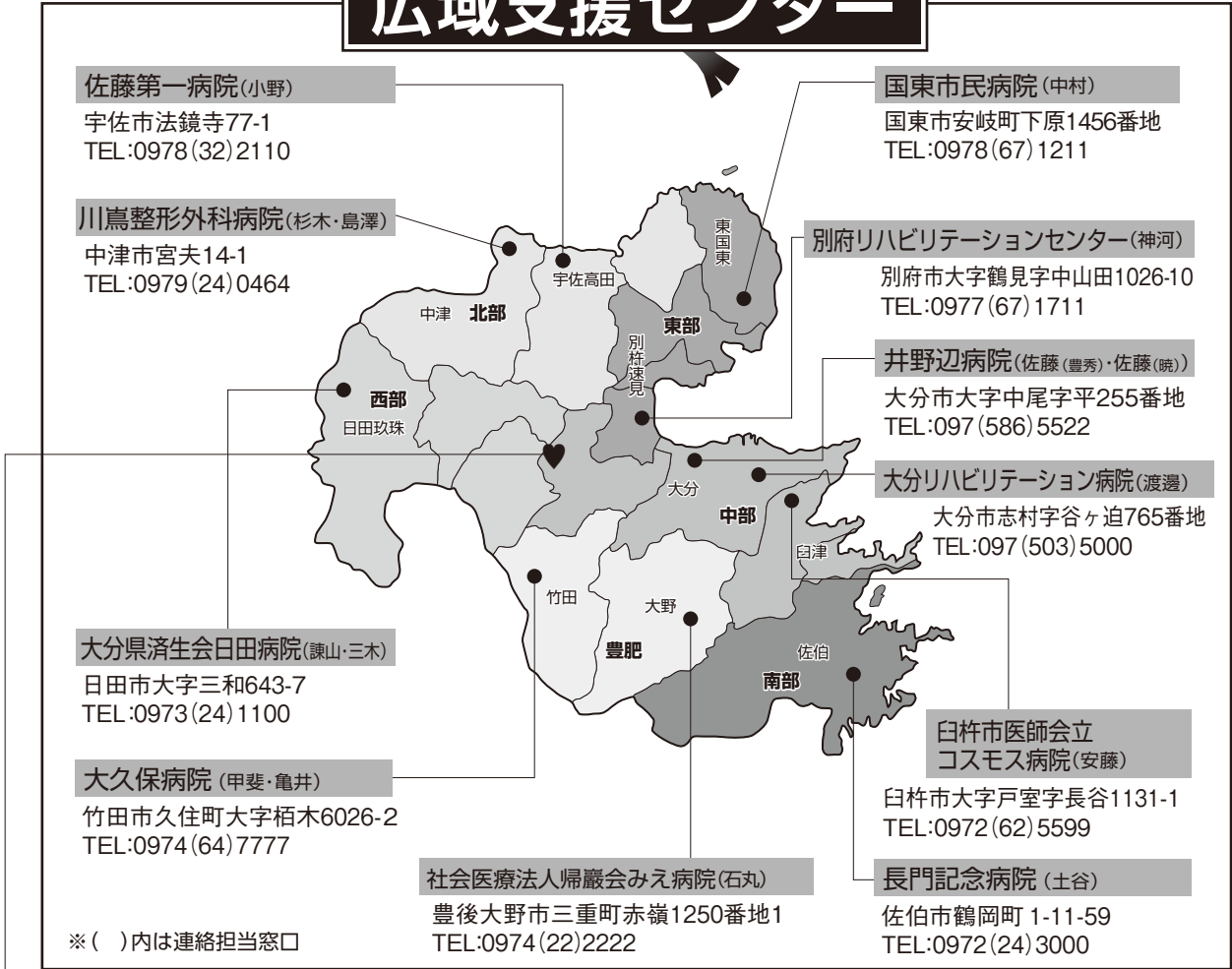
### 県リハセンター拡大運営会議 参加団体（20）名簿（平成31年4月1日現在）

大分県医療ソーシャルワーカー協会  
 大分県栄養士会  
 大分県介護支援専門員協会  
 大分県介護福祉士会  
 大分県看護協会  
 大分県言語聴覚士協会  
 大分県作業療法協会  
 大分県歯科医師会  
 大分県歯科衛生士会  
 大分県視能訓練士会  
 大分県地域包括・総合相談・  
 在宅介護支援センター協議会  
 大分県地域リハビリテーション医師懇話会  
 大分県地域リハビリテーション研究会  
 大分県病院協会  
 大分県放射線技師会  
 大分県薬剤師会  
 大分県理学療法士協会  
 大分県臨床検査技師会  
 大分県臨床工学技士会  
 大分県臨床心理士会(大分県公認心理師協会)

五十音順



# 広域支援センター



H 30 年度～

**JCHO 湯布院病院**

<http://yufuin.jcho.go.jp>

**大分県リハビリテーション支援センター運営部** (會川・神田・日高・佐藤(友))

〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南252

H31.4月現在

TEL : 0977(84)3171 (代表) FAX : 0977(85)5880

# 大分県リハビリテーション支援センター活動報告 および地域リハビリテーション関連活動報告

## <記載項目>

1. 平成 30 年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ
2. 平成 30 年度実施事業の詳細
3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告
4. おおいた食のリハビリテーション研究活動報告

# 1. 平成30年度 大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ

1. 由布保健部圏域介護予防検討会  
平成30年10月29日(月) OT 佐藤(友)
2. 由布地域包括ケア推進協議会  
センター長、事務部長、ST 木村、OT 佐藤(友)、PT 西ノ園(龍)、MSW 割石 出席者6名
3. 由布市 健康応援団派遣事業  
40地区 計40回 講師派遣延べ44名
4. 大分県地域リハビリテーション研究会運営部会 19:30～大分市井野辺病院  
平成30年6月25日(月)、平成30年9月4日(火)、平成30年11月26日(月)  
(神田、會川、西ノ園(龍))
5. 大分県地域リハビリテーション研究会 第30回役員会  
平成30年6月8日(金) (センター長)
6. 平成30年度大分県回復期リハビリテーション病棟連絡協議会理事会  
平成30年7月13日(金)、平成31年2月9日(土) (センター長)
7. 大分県リハビリテーション協議会  
平成31年2月28日(木) 大分県庁本館 (センター長、會川)
8. 平成30年度大分県高次脳機能障がい相談支援体制連絡調整委員会  
平成31年3月5日(火) (センター長)
9. 平成30年度JRAT九州ブロック会議 in 大分  
平成31年3月21日(木) 祝日 14:30～  
JCHO 湯布院病院 保健学習棟 3階研修室 (センター長・事務局5名)

## 2. 平成30年度実施事業の詳細

### (1) 第30回三者会議

日時：平成30年4月17日（火）

会場：JCHO 湯布院病院 保健学習棟3階 研修室

出席者：県健康づくり支援課：藤本 紀代美参事（総括）、大和 泉 健康寿命延伸班主幹  
県高齢者福祉課：一丸 淳司 医療政策課地域医療政策監兼参事  
地域包括ケア推進班 吉村 一彦主幹、芋迫 英里香技師、宇野 恵里花主事  
広域支援センター代表者

主な議題：県リハセンター並びに広域支援センターの平成29年度活動報告  
県の進める健康増進計画と地域包括ケア推進について  
県リハセンター並びに広域支援センターの平成30年度活動計画

### (2) 第16回拡大運営会議

日時：平成30年5月16日（水）

会場：JCHO 湯布院病院保健学習棟3F 研修室

出席者：県健康づくり支援課 藤内 修二課長、大和 泉 主幹  
県高齢者福祉課 吉村 一彦主幹  
関係団体代表者

主な議題：平成29年度県リハセンター並びに広域支援センターの事業報告  
平成30年度県リハセンター並びに広域支援センター事業計画  
県の進める健康増進計画と地域包括ケア推進について  
地域リハ活動の普及に向けた各職能団体の取り組み等の報告及び提出議題の検討

### (3) 第15回合同研修会（大分県地域リハビリテーション研究会共催）

テーマ：介護予防の未来～住民主体で支え合う地域づくりに向けて～

日時：平成30年7月15日（日）

会場：J:COM ホルトホール大分 3階 大会議室

内容：

#### 1. 報告①「平成29年度地域リハビリテーション活動報告と平成30年度の事業計画」

報告者：大分県リハビリテーション支援センター運営部 佐藤 友美

#### 2. 報告②「平成30年度大分県からの事業説明」

報告者：大分県福祉保健部 健康づくり支援課 藤内 修二課長

#### 3. 講演「地域づくりと介護予防～フレイルの概念から考える健康寿命延伸のあり方～」

講師：筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻 准教授 山田 実氏

#### 4. シンポジウム

テーマ「通いの場」もっと活かしたい！“住民力”

シンポジスト：

①大分県 高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 主幹 渡邊 康弘氏

②佐伯市 高齢者福祉課 地域包括支援センター 副主幹 亀井 聡子氏

③社会福祉法人 中津市社会福祉協議会 地域福祉課長 吉田 瑞穂氏

アドバイザー：筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻 准教授 山田 実氏

参加者数：149名



#### (4) 第31回三者会議

日時：平成30年10月16日（火）

会場：JCHO 湯布院病院保健学習棟 研修室

出席者：県健康づくり支援課：藤内 修二参事監兼課長、藤本 紀代美参事（総括）、大和 泉主幹  
県高齢者福祉課：一丸 淳司医療政策課地域医療政策監兼参事、渡邊 康弘主幹（総括）

主な議題：今年度事業の進捗状況報告

県からの報告・協議事項について及び災害関連として大分 JRAT 活動報告（岡山への派遣報告）・下半期の企画

#### (5) 大分地域リハビリテーション・ケア研修会（県リハセンター共催）

日時：平成31年1月19日（土）

会場：大分県消費生活・男女共同参画プラザ、アイネス 大会議室

参加者：53名

テーマ：「地域連携に関わる薬剤師の取り組み」

講師：万里薬局 神田 秀一郎氏（大分県薬剤師会）

ブンゴヤ薬局 荘司 晃寿氏（大分県薬剤師会）

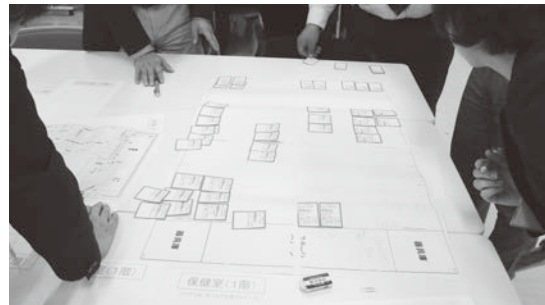
#### (6) 平成30年度地域リハ実践者研修

日時：平成30年12月6日（木）17：30～受付 18：00～20：00

会場：由布市役所 本庁舎（庄内） 市民ホール1-1

内容：講義とグループ実践 避難所運営ゲーム HUG

内 容：講義「平成 30 年西日本豪雨災害への大分 JRAT 災害リハ支援を通して感じたこと」  
講 師：JCHO 湯布院病院 理学療法士 高嶋 一慶氏  
参加職種：市役所保健師、保健所の保健師、行政職、社会福祉士（包括）、看護師、ケアマネ、  
理学療法士、作業療法士等



講義の中の実体験を通して災害時の避難所の実際について学び、実技としてグループごとに分かれて「避難所運営ゲーム HUG」を使って机上での避難所運営の体験を実施。

参加者アンケートでは災害時の役割分担の難しさ、連携の大切さを学んだ。日頃の顔の見える関係性が大切だと思った。避難所を運営する上で考えておくべき課題が見えてきた。今後各地で研修会を開催し、広めていくといいと思う等の意見があり好評であった。

受講者数：37 名

#### (7) 第 10 回実務者会議

日 時：平成 30 年 12 月 17 日（月）

場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 研修室

出席者：県健康づくり支援課より大和 泉主幹

県高齢者福祉課より吉村 一彦主幹

広域支援センターの実務者

主な議題：平成 31 年度県の事業計画（案）

県リハセンターの事業（年間計画案・予算案）

広域支援センターの活動計画案・予算案

#### (8) 大分災害リハビリテーション推進協議会の活動

##### ①大分 JRAT 災害リハビリテーション支援研修会（実動訓練）

実施日：平成 30 年 9 月 29 日（土）9：30～16：00（受付 9 時～）

講演 1：「災害と下肢のケア・深部静脈血栓の予防に向けて」

講師：JCHO 南海医療センター心臓血管外科 部長  
日本静脈学会 災害対策委員 岩田 英理子氏



講演 2：「災害医療の実際～被災地域の生活を支えるために～」

講師：国立病院機構 災害医療センター  
災害医療部 福島復興支援室 小早川 義貴氏

セミナー 1：「JRAT の概要と災害リハビリテーションの基礎知識」

大分県作業療法協会 副会長 日隈 武治氏

セミナー 2：「大分 JRAT マニュアルについて」

講師：大分 JRAT マニュアル委員 會川 裕子 高嶋 一慶

実技：JRAT の災害支援の実際 実働訓練

会場：別府リハビリテーションセンター 体育館及び研修室

対象：災害時のリハビリテーション支援に関する関係職種

受講者：62名



活動員チームによる作戦会議



大分 JRAT 災害対策本部（仮）にて打ち合わせ



模擬保健所を設置、現地災害対策本部（仮）体験



模擬避難所へ出向き、避難所状況確認





JRAT 活動員と模擬避難者役に分かれ実働訓練



講師の小早川先生登場



講師：岩田先生 DVT アセスメント 実践で参加



訓練終了後の振り返り、全チームと共有



第6回世話人会開催  
新規の世話人会加入者の紹介や  
今年度活動方針等の検討



### 3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告

大分県リハビリテーション支援センターは、大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）の事務局を担っており、この立場から本報告を行う。平成 30 年度において、支援活動員の登録は 78 名となった。災害リハビリテーションに関心を持ち、有事の際に活動の意思を持つリハ職の育成、人材の確保に着手につながっていることを実感する一年となった。また、内閣府主導の大規模地震医療活動訓練へ参加できた。この訓練に参加することにより、災害時の地域住民の健康を守る一つの支援団体として、特に行政（県、市町村、保健所）に認知され、貴重な機会となった。直接支援は、7 月 5 日発災の西日本豪雨において、岡山県倉敷市の避難所支援を行った。

昨今、毎年発生している災害において、リハビリテーションのニーズが高まっている。このニーズに応えられる組織となるべく、来年度も継続的に研修会による研鑽を行うとともに、機動力のある組織づくりを行うことを計画している。

本項では、平成 30 年度の実績と来年度の事業計画について報告する。

#### 1. 災害リハビリテーションの教育・普及・啓発

- ・災害リハビリテーションに関する研修の実施（平成 30 年 9 月 29 日（土））：再掲

- ・地域住民への災害リハセミナー開催

  - 市民公開講座 ①平成 30 年 9 月 25 日（火）：湯布院病院において

  - ②平成 30 年 11 月 8 日（木）：湯布院社会福祉協議会 ホールにおいて

  - 由布市健康応援団：災害への備え 計 4 団体

- ・広域支援センターでの災害リハ研修会の後方支援：再掲

  - 平成 30 年 9 月 3 日（月） 佐藤第一病院にて

#### 2. 災害対応のための組織化

- ・災害リハ支援チームメンバー登録の推進

  - 登録者数 78 名 内訳：医師 8 名 作業療法士 15 名 理学療法士 49 名 言語聴覚士 4 名

  - 看護師 1 名 その他 1 名（情報技術）

- ・大分県における防災訓練への参加協力等（大分 DMAT との連携等）

  - 大規模地震医療活動訓練（避難所支援訓練）

  - 日 時：平成 30 年 8 月 4 日（土） 9：30～13：00

  - 場 所：臼杵市立西中学校

  - 参加者：医師 1 名 作業療法士 3 名 理学療法士 7 名 言語聴覚士 2 名

  - オブザーバー 4 名

  - 概 要：臼杵市にて地震・津波が発生したシナリオに応じ、避難所支援訓練を実施した。保健所からの指示に従い、他の支援団体（DHEAT、薬剤師会、歯科衛生士会、栄養士会）と共に活動を行った。実際の災害支援時の流れに即し、保健所でのブリーフィングから始まり、避難所環境アセスメント、避難者のリハトリアージ（スクリーニング）、生活不活発予防の啓発等を行った。同時進行で大分 JRAT 災害対策本部を設置し、ロジスティックのシミュレーションも行った。直接支援の経験がない参加者も、臨場感を

持って支援経験を積む機会となった。また、保健師、他の支援チームとの連携の必要性が認識できた。一方で、避難所・避難者に関する情報共有が難しいこと、リハ専門職として、想定外の状況に対応できる臨機応変さを必要とされることが課題となった。繰り返し支援訓練を積む機会を持てるよう、災害リハ研修の内容の見直しを図ることとした。



▲段ボールベッドや間仕切りを設置。避難所環境調整を担った。



▲保健師から避難所内の要援護者に関する説明を受けている様子



▲避難者役として参加した住民に、生活不活発病・DVT 予防の必要性とその方法を伝えた



▲避難者役の男性(防災士)の起居動作を補助するため、福祉用具を設置した

### 3. 直接支援活動

#### 【岡山県倉敷市での支援活動】

7月5日に西日本豪雨発災した。7月21日に本部 JRAT から正式な避難所支援チーム派遣依頼が発信され、大分県から3チームエントリーした。そのうち1チームがマッチングされ、倉敷市真備町での直接支援を行った。7月30日～8月1日までの活動予定であったが、台風の接近に伴い、7月31日・8月1日の二日間の活動となった。

派遣職種：理学療法士3名（湯布院病院：梶原 洋 高嶋 一慶 欽田 翼）

活動場所：指定避難所4施設

活動内容：1) 避難所アセスメントと環境調整（福祉用具の調整含む）

2) 要配慮者のアセスメントと対応の検討

3) 生活不活発病、エコノミークラス症候群、熱中症、肺炎予防（口腔ケア）の普及啓発

4) 運動機会の提供（住民ボランティアである健康運動リーダーと連携）



▲発災から3週間以上経過していたため、避難所内の環境は比較的整備されていた。



▲この地域で普及しているシルバーリハビリ体操を、避難者と実施した。



◀岡山 JRAT 災害対策本部のロジスティクスとリハ医と活動させていただいた。

## 【大分 JRAT 事務局活動】

### 1. 大分 JRAT 緊急世話人会

日時：平成 30 年 7 月 15 日（日） 場所：J：COM ホルトホール大分

内容：西日本豪雨災害の情報共有 大規模地震時医療活動訓練について

### 2. 大規模地震時医療活動訓練事前打ち合わせ会議への出席

日時：平成 30 年 7 月 10 日（火） 場所：白杵市消防署

平成 30 年 8 月 1 日（水） 場所：白杵医師会立コスモス病院

内容：訓練への参加支援チームとの顔合わせ、シナリオ・役割分担の確認等

### 3. 大規模地震時医療活動訓練検証会

日時：平成 30 年 9 月 1 日（土） 場所：大分県医師会館 7 階

平成 31 年 1 月 7 日（月） 場所：大分県庁 本館 2 階 正庁ホール

内容：実施状況の共有と今後の課題の整理・検討

### 4. 大分 JRAT 世話人会

日時：平成 30 年 9 月 29 日（土） 場所：別府リハビリテーションセンター 会議室

内容：大分 JRAT 組織運営、ならびに災害リハ研修の検討等

5. 平成 30 年度 JRAT 九州ブロック会議 in 大分

日 時：平成 31 年 3 月 21 日（木） 14：30～

場 所：JCHO 湯布院病院 保健学習棟 3 階研修室

研 修：「地域防災計画に基づく医療救護チームの連携」

講 師：大分県福祉保健部参事監 兼健康づくり支援課 課長 藤内 修二先生

出席者：JRAT 栗原 正紀代表、近藤 國嗣副代表、九州全域の地域 JRAT 代表及び行政関係者  
大分 JRAT 事務局 6 名参加

【研修講師等の実績】

1. 災害支援ナース研修会

日時：平成 30 年 7 月 28 日（土） 場所：大分県看護協会研修センター

演題：「JRAT の活動について」

演者：伊東 祐輔（別府リハビリテーションセンター）

2. 日本救急医学会 九州地方会 シンポジウム

日時：平成 30 年 6 月 9 日（土） 場所：J：COM ホルトホール大分

演題：平成 29 年九州北部豪雨災害における大分 JRAT の活動報告

シンポジスト：佐藤 友美（湯布院病院）

3. 日本医療マネジメント学会 第 19 回大分県支部学術集会 シンポジウム

日時：平成 31 年 2 月 23 日（土） 場所：湯布院病院

演題：災害に強いまちづくりに貢献できる地域リハビリテーションを目指して  
—大分 JRAT の取り組み—

シンポジスト：佐藤 友美

## 4. おおいた食のリハビリテーション研究会 活動報告

本研究会は平成18年12月3日に発足し、令和1年6月現在での会員数は236名である。主な活動は年に2回の研修会と大分県社会福祉介護研修センターとの共催で実施している摂食・嚥下セミナーがある。また、おおいた食リハニュースを年数回発行している。

### <平成30年度活動報告>

おおいた食のリハビリテーション研究会 総会・第23回研修会

「在宅への食支援～知りたい！ちょっとしたコツ～」

日 時：平成30年7月22日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

9：00～受付

9：30～総会

9：50～基調講演 大分県言語聴覚士協会 会長 木村 暢夫氏

10：10～症例報告3例 ディスカッション

12：00 終了

第12回摂食・嚥下セミナー（共催 大分県社会福祉介護研修センター）

目 的：人間の活力の源である「食事」は、おいしく口から食べるという楽しさだけではなく、脳を刺激し生きる喜びにも繋がります。しかし、病院や施設、在宅では「食」に関する何らかの問題を抱えている方は数多く、多職種協働のケアにおいては大きな課題となっています。そこで、摂食・嚥下機能の専門家による知識と技術を学んでいただき、チームとして質の高い支援を提供できる人材を育成するために開催しています。

日 時：1日目 6月22日（金） 開講式、嚥下障害への対応と支援、摂食嚥下障害概説、患者の支援

2日目 6月30日（土） 間接・直接訓練の実際、経口摂取確立のための呼吸・姿勢・摂食へのアシスト

エンド・オブ・ライフにおける食支援について

3日目 7月29日（日） 食べる喜びを支援する食事の介助、口腔について、口腔ケアの実際

4日目 8月9日（木） 栄養管理について、認知症・高次脳機能障害者への食事支援

5日目 8月24日（金） 事例検討・事例報告・受講経験者からの報告・終了式

対象者：介護福祉士、ホームヘルパー、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士、歯科衛生士、調理員等

会 場：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

共 催：大分県社会福祉介護研修センター、おおいた食のリハビリテーション研究会

おおいた食のリハビリテーション研究会 第24回研修会

「地域包括ケア時代の食支援～医科歯科連携と口のリハビリテーションのすゝめ～」

日 時：平成31年 3月24日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター 大ホール

9：00～受付

9：30～講演①「多職種で関わる医科歯科連携

～回復期リハビリテーション病院と老健施設の現場から～

社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院

法人統括歯科衛生士主任 衛藤 恵美氏

11：00～講演②「口のリハビリテーションの薦め

地域包括ケア時代：求められる医科歯科領域を超えた多職種連携」

長崎リハビリテーション病院 理事長・病院長 栗原 正紀氏

11：30 終了



第 12 回摂食嚥下セミナーの様子



第 24 回研修会の様子（栗原 正紀氏）

## 広報誌「おおいた食リハニュース」発行

○第 35 号 平成 30 年 6 月発行

特集 オーラルフレイル

第 22 回研修会・総会の報告

お知らせ

摂食嚥下セミナー開催のお知らせ

第 23 回研修会のお知らせ

おおいた 食リハ | 第 35 号

おおいた  
食リハ  
ニュース

http://oitashoku.com/  
2018 第 35 号  
発行日：平成 30 年 6 月  
Oita syokurika-Reha

<本誌上> 誰もが「食」を味わい楽しみたい  
世界の分子栄養メソッドによる介護食 『にぎやかな寿司』  
オーラルフレイルコート  
特集 オーラルフレイル

■ 背景は、サルコペニアを特集しました。サルコペニアは、全身の筋肉量の低下を意味し加齢や身体活性低下、病氣、栄養不足など多くのものが原因で引き起こされるものです。このサルコペニア、実はオーラルフレイルと呼ばれるものが原因の一つでもあるのです。オーラルフレイルは、ここ最近耳にする事が多くなってきましたが、皆さんご存知でしょうか？日本語訳で oral = 口腔の、 frail = 弱いという意味です。オーラルフレイルを理解するには、まずフレイルを説明しなければなりません。フレイルとは加齢とともに心身の活力（運動機能、認知機能）が低下し、複数の慢性疾患の併存等の影響もあり生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態ですが、一方で適切な支援・介入により生活機能の維持・向上が可能な状態のことです。オーラルフレイルはフレイルの前期の状態です。日本老年医学会で飯島勝夫氏（2017）らが提唱したもので、①口から食べ物をこぼす、②ものがうまく飲みこめない、③嚥下が悪くなる等、といった軽微な衰えを見逃した場合は、全身的な機能低下が進むことを示し、これをオーラルフレイルと名付けました。全身の機能低下の原因は活動量や筋力の低下によるものと考えられがちですが元々の原因は口腔機能

が低下してから全身の機能が落ちていくとされています。まず、加齢により虫歯や歯周病が発生します。口腔への関心の低さから、歯の喪失や口腔内の悪化が起こります。そうすると噛む力や飲みこむ力、そして口腔機能が低下します。この状態に移行すると食事量の低下や食欲低下につながり、慢性的に栄養不足の状態になります。慢性的な栄養不足はサルコペニアを進行させ、筋力低下が進み歩行障害、活動量の低下が起こりさらに筋力を使わないのでエネルギー消費量の低下が加速し悪循環へ陥ります（下図）。つまり、体力の喪失やサルコペニアの原因は口腔機能低下にあるのです。

フレイルサイクル

フレイルサイクルの図は、フレイルの悪化を促進する要因とそれを防ぐ要因を示しています。フレイルの悪化を促進する要因は、歯の喪失、口腔機能低下、筋力低下、活動量低下、エネルギー消費量低下、高力低下、サルコペニア、衰弱、栄養不足、低栄養です。フレイルの悪化を防ぐ要因は、歯の喪失の予防、口腔機能低下の予防、筋力低下の予防、活動量低下の予防、エネルギー消費量低下の予防、高力低下の予防、サルコペニアの予防、衰弱の予防、栄養不足の予防、低栄養の予防です。

# 大分県地域リハビリテーション 広域支援センター活動報告

## <記載項目>

- ①圏域の特徴・平成30年度目標
- ②研修テーマ
- ③広域主催の主な研修内容
- ④地域での連携状況
- ⑤圏域での災害支援の協力体制について
- ⑥今後の課題



## 東部圏域 東国東地域



センター長  
野邊靖基



担当窓口  
中村晋也



### 【広域主催の主な研修内容】

平成 30 年 8 月 2 日：①「在宅版総合記録シートの取り組みについて」  
②「メディカルケアステーション（MCS）で実践する多職種ネットワーク」  
講演者：①国東市在宅医療・介護連携推進運営会議 多職種連携部会  
②株式会社日本エンブレース

平成 31 年 1 月 24 日：認知症診療における骨粗鬆症治療の重要性  
～寝たきり認知症を防ぐために～

※共催の開催・その他の研修会としては  
市民公開講座、医師会講演会、仏の里ネットワーク講演会、等開催

### 市民公開講座

日時：平成 30 年 9 月 1 日（土）14 時～16 時  
市民の「得意」を活かせ！  
～食を通じた地域総動によるまちづくり～  
場所：アストくにさき アストホール  
講師：まんのう町国民健康保険造田・美合歯科診療所  
所長 木村 年秀 先生  
歯科衛生士 丸岡 三紗 先生

### 【地域での連携状況】

相談：「摂食嚥下・口腔ケア・介護・障害関係・歯科医療・その他」、随時対応中  
共同利用：医療実習（医師・コ・メディカル、救急救命）・体験学習・研修会・勉強会等に随時使用中  
講師派遣：出前講座を随時開催中（33 件）  
摂食嚥下障害について各事業所等、講師（ST）派遣（4 回）  
国東市「認知症対応力向上のための地域ケア会議」に派遣・介入・協力・報告を行う  
会議：ホットネット会議・月 1 回、事前会議・月 1 回  
国東市在宅医療・介護連携推進運営会議および作業部会議への参加  
その他、地域ケア会議・各審査会への参加・糖尿病（若葉の会）への取り組み

### 【今後の予定】

検討中

## 東部圏域 別杵速見地域



センター長  
長 岡 博 志



担当窓口  
神 河 宏 明



### 【圏域の特徴・平成30年度目標】

圏域内の各地域にリハビリ専門機関があり、医療・介護・福祉の分野において各地域ごとに様々な取り組みをおこない、地域住民をサポートする体制が整備されている。

今年度、各機関の専門職を対象に『リハビリテーションと栄養管理について理解する』ことを目的とした研修会を開催することで各個人のスキルアップを支援し、地域での活動に活かしていただけるよう支援をおこなっていききたい。

### 【研修テーマ】

高齢者・障害者における、リハビリテーションと栄養管理について理解する。

### 【広域主催の主な研修内容】

実施日：平成30年9月3日（月）

講習内容：サルコペニアと地域リハビリテーション栄養

講師：熊本リハビリテーション病院 リハビリテーション科・副部長 吉村 芳弘 医師

対象：大分県内に勤務する医療・福祉・介護・学校関係者等

受講者数：133名

### 【地域での連携状況】

○地域リハビリテーション活動・地域との具体的連携

地域ケア会議への職員派遣

別府市6回 日出町7回

共催研修会（後援）

平成30年9月2日（日）大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会

### 【圏域での災害支援の協力体制】

平成30年9月29日（土）JRAT研修に際しての会場の提供

### 【今後の課題】

研修会開催に関するテーマの設定（前年度研修会開催時のアンケート調査により内容を検討）

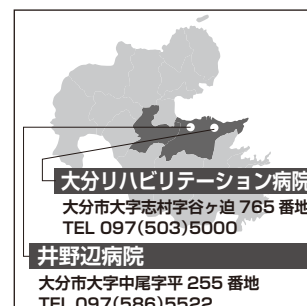
## 中部圏域 大分地域

### 大分リハビリテーション病院

センター長 山口 豊  
 担当窓口 渡邊 亜紀  
 担当窓口 遠山 文子  
 担当窓口 田島 景介

### 井野辺病院

センター長 井野邊 純一  
 担当窓口 佐藤 豊秀  
 担当窓口 佐藤 暁  
 担当窓口 岸本 周作  
 担当窓口 後藤 直哉



### 【圏域の特徴・平成 30 年度目標】

研修会の企画・運営、講師の派遣

### 【研修テーマ】

医療および地域リハビリテーションの従事者が、最新の医療及びリハビリテーションの知識を得ることで、臨床現場への導入、新たに地域リハビリテーション体制を構築する発送の一助とする。

### 【広域主催の主な研修内容】

内 容：講義「脳の機能を引き出すニューロリハビリテーションの最前線」

講 師：三原 雅史先生（川崎医科大学神経内科学特任教授）

日 時：平成 30 年 4 月 21 日（土）18：30～20：00

参加人数：86 名（内訳 Dr=10 名、PT=34 名、OT=26 名、ST= 4 名、その他 =16 名）

### 【地域での連携状況】

<講師派遣>

○大分リハビリテーション病院

派遣日	派遣名	内 容	派遣者
2018年4月7日	リハパーク1F	第3回患者家族会 認知症について	笠野、佐藤
4月30日	大洲運動公園	大分県体育協会テニス部会 メディカルチェック	赤野、PT数名
5月22日	野津原公民館	転倒予防教室、健康教室	河野、原口、吉武
6月7日	大分大学経済学部棟	ベンチャー企業論「ヘルスケアベンチャーについて～当院産業リハビリテーションの事業コンセプト～」	河野
7月7日	リハパーク1F	リハマルシェ 運動・体操	渡邊、鴨川、原口、高橋、長尾、衛藤、安邊、川井、甲斐、竹中
9月15日	坂ノ市中学校	ふれあいPTA 病院紹介と各職種紹介	西山、鴨川、山本、榎本、金丸、後藤
10月10日	坂ノ市公民館	お口の大切さについて健康講話 歩行と転倒予防について	衛藤、鴨川
10月13日	大分銀行 本店	健康経営企画 ダイエットセミナー	西山、河野
10月24日	大分豊寿苑	パワーアップ教室 歩行について	鴨川
11月17日	川添 浄土寺公民館	講演 健康寿命を延ばそう	井上
2019年1月25日	望みが丘公民館	脳卒中	山口
1月28日	原川地域包括センター	お口の大切さ	衛藤
2月6日	宮河内ハイランド公民館	脳卒中	山口
3月4日	おおのがわSmile Run	マラソン後のストレッチとケア	鴨川、山本、遠山
3月3日	東部医療福祉市民セミナー	健康寿命を延ばそう	井上、鴨川、山本

○井野辺病院

派遣日	派遣名	内 容	派遣者
2018年5月15日	深河内サロン	栄養について	河津
6月20日	荏隈サロン	健康な身体づくり	佐藤(暁)
7月5日	高江団地	介護予防教室～運動栄養について～	佐藤(暁) / 河津
7月12日	高江団地	介護予防教室～運動口腔について～	佐藤(暁) / 松村
7月26日	北町健康いきいきサロン	栄養について	河津
6月12日	大分市パワーアップ教室	実施支援 (小野鶴養生院)	佐藤(暁)
6月27日	大分市パワーアップ教室	実施支援 (大分豊寿苑)	佐藤(暁)
7月25日	大分市パワーアップ教室	カンファレンス参加 (小野鶴養生院)	佐藤(暁)
8月24日	大分市パワーアップ教室	カンファレンス参加 (大分豊寿苑)	佐藤(暁)
6月1日	平成30年度第1回大分市在宅医療・介護連携会議 作業部会	作業部会出席	佐藤(暁)
8月31日	大分市在宅医療・介護連携推進事業 (市民公開講座)	在宅医療・介護に関する市民公開講座第1回運営委員会 出席	佐藤(暁)
10月26日	大分市在宅医療・介護連携推進事業 (市民公開講座)	在宅医療・介護に関する市民公開講座第2回運営委員会 出席	佐藤(暁)
11月13日	大分市在宅医療・介護連携推進事業 (市民公開講座)	在宅医療・介護に関する市民公開講座第3回運営委員会 出席	佐藤(暁)
11月17日	大分市在宅医療・介護連携推進事業 (市民公開講座)	在宅医療・介護に関する市民公開講座運営委員として 出席	佐藤(暁) / 岸本
2019年11月14日	植田東地域ネットワーク会議	会議出席	佐藤(暁)
2月21日	大分市難病患者支援ネットワーク会議	会議出席	佐藤(暁)

【圏域での災害支援の協力体制】

JRAT, ORAT に適宜参加

【今後の課題】

・実務者会議の運営

## 中部圏域 白津地域



センター長  
下田 勝 広



担当窓口  
安藤 真 次



### 【圏域の特徴・平成30年度目標】

当広域支援センターは白杵市と津久見市の2市を担当し、両市とも医師会立病院が各地域においての中核病院であるため、かかりつけ医や市との連携も積極的に実施している。

### 【研修テーマ】

- ① 介護予防から始まる地域づくり ～からだも心も地域も元気に～  
講 師：岡山県津山市 健康増進課 安本 勝博氏  
日 時：平成30年6月23日（土）  
場 所：白杵市中央公民館 大ホール  
参加者：172名
- ② 白杵市認知症フォーラム  
講 師：医療法人末広 院長 白川 暁彦氏  
大阪大学歯学部顎口腔機能治療学教室 准教授 野原 幹司氏  
鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座 教授 浦上 克哉氏  
日 時：平成30年11月18日（日）  
場 所：白杵市民会館 大ホール

### 【広域主催の主な研修内容】

- ①日 時：平成30年4月18日（水）10：00～11：00  
テーマ：「転倒予防」  
講 師：白杵市医師会コスモス病院 理学療法士 阿部 翔伍  
場 所：中津浦地区公民館  
対象者：地域住民  
参加数：24名
- ②日 時：平成30年5月12日（土）9：30～11：00  
テーマ：「腰痛予防の運動と体操」  
講 師：白杵市医師会立コスモス病院 作業療法士 首藤 生実  
場 所：中央公民館  
対象者：地域住民  
参加数：8名
- ③日 時：平成30年5月25日（金）14：00～15：00

テーマ：「認知症と運動について」

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 作業療法士 野田 絵里加

場所：いごこち良好

対象者：入所者

参加数：10名

④日 時：平成30年5月30日（水）14：00～15：00

テーマ：「認知症と運動について」

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 作業療法士 徳田 幸之介

場所：日あたり良好

対象者：デイ利用者

参加数：10名

⑤日 時：平成30年6月19日（火）11：00～12：00

テーマ：「腰痛予防のポイントと体操」

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 直野 滉平

場所：臼杵市下ノ一 老人憩の家

対象者：地域住民

参加数：20名

⑥日 時：平成30年7月25日（水）10：00～11：00

テーマ：骨盤底筋体操

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 安藤 真次

場所：三重野公民館

対象者：地域住民

参加数：19名

⑦日 時：平成30年7月27日（金）14：00～15：00

テーマ：「運動評価の方法」

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 作業療法士 徳田 幸之介

場所：デイサービス花の詩

対象者：デイサービス職員

参加数：5名

⑧日 時：平成30年9月16日（日）11：00～11：30

テーマ：「コグニサイズと口腔体操」

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 安藤 真次

場所：荒田公民館

対象者：地域住民

参加数：19名

⑨日 時：平成30年10月18日（木）10：00～11：30

テーマ：「運動のメリットと運動習慣つけるための導入の話」

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 作業療法士 関 唯菜

場所：津久見 彦ノ内公会堂

対象者：地域住民

参加数：72名

⑩日 時：平成30年11月1日（木）19：00～19：30

テーマ：「骨盤底筋運動」

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 安藤 真次

場所：臼杵市 荒田公民館

対象者：下南福祉推進協議会 前田支部委員

参加数：18名

⑪日 時：平成30年11月5日（月）9：30～11：00

テーマ：「骨盤底筋運動、認知機能と運動について」

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 安藤 真次

作業療法士 徳田 幸之介

場所：臼杵市 浄光台公民館

対象者：地域住民

参加数：19名

⑫日 時：平成31年1月16日（水）9：30～11：00

テーマ：「食事の取り方について」

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 佐藤 春花 安藤 真次

場所：臼杵市 中津浦公民館

対象者：地域住民

参加数：16名

その他

- ・週1元気アップ教室：9地区介入（6月～12月 全18回）臼杵市高齢者支援課より委託事業
- ・ボディデザインスクール：（9月～11月 全15回）臼杵市役所に介入 臼杵市役所人事職員管理グループより委託
- ・リハ職派遣事業：（10月～1月 全4回）デイサービスセンターやわらぎ 津久見市長寿支援課より委託
- ・働き盛りの健康サポートプロジェクト：フォローアップ事業 3事業所介入（10月～11月 全3回）中部保健所健康安全企画課より委託事業

#### 【地域での連携状況】

臼杵市でICTを利用した情報共有ツール「うすき石仏ねっと」が臼杵市内だけでなく、大分大学医学部付属病院やへつぎ病院、津久見中央病院と情報共有できるようになり、更なる医療連携の推進が図られている。また、中部保健所と事業所への介入を実施し、腰痛予防や生活習慣病予防に対する働きかけを実践している。

#### 【圏域での災害支援の協力体制】

平成30年8月4日（土）、日本DMATと協力し南海トラフ地震が発生した場合を想定した広域実動訓練や臼杵市消防本部と連動した災害訓練を実施した。

#### 【今後の課題】

広域主催の研修を地域住民に対し行ってきたが、住民主体の活動の場づくりの支援につながるような関わり方を現在模索中。

## 南部圏域 佐伯地域



センター長  
後藤 陽一郎



担当窓口  
土谷 健治



### 【圏域の特徴・平成30年度目標】

自立支援に向けた支援体制の拡充を地域全体で取り組む。  
地域住民の健康増進・介護予防に対する意識の向上。

### 【研修テーマ】

- ①介護予防について
- ②運動の効果や取り組み方法について

### 【広域主催の主な研修内容】

※当センター主催ではなく、佐伯市が開催する研修会に企画段階から協力する形式を取っています。

- ①訪問介護事業所実践力向上研修会  
開催日時：平成30年5月25日（金）  
対象者：訪問介護事業所職員（実際にサービス提供を行っている方）  
参加者数：113名  
※圏域内セラピスト27名の協力を得て開催
- ②介護支援専門員実践力向上研修会  
開催日時：平成30年7月11日（水）  
対象者：ケアマネ  
参加者数：99名  
※圏域内セラピスト33名の協力を得て開催
- ③佐伯市介護予防講演会  
開催日時：平成30年9月2日（日）  
対象者：地域住民及び医療、介護従事者等  
参加者数：375名

### 【地域での連携状況】

- ①研修会講師の依頼及び派遣調整。
- ②研修会の企画、広報及び開催を佐伯市と共同で実施。
- ③地域リハ活動支援事業への協力（スタッフの派遣及び多施設スタッフの派遣調整）
- ④高齢者にやさしい地域づくり協議会参加。
- ⑤佐伯市の通所及び訪問介護事業所各々の連絡会への参加及び協力

### 【圏域での災害支援の協力体制】

現時点では特に無し。

### 【今後の課題】

医療、介護サービス卒業後の受け皿の整備。（住民主体の通いの場の拡充）



## 豊肥圏域 大野地域



センター長  
松尾 則 義



担当窓口  
石丸 知 二



### 【圏域の特徴・平成 30 年度目標】

地域住民及び施設職員からの相談対応  
地域包括ケア業務における行政との協力

### 【研修テーマ】

今年度は計画なし。

### 【広域主催の主な研修内容】

今年度は計画なし。

### 【地域での連携状況】

- ・ 地域ケア会議アドバイザー派遣調整  
(施設利用)
- ・ 公社大分県理学療法士協会
- ・ 看護協会研修会

### 【圏域での災害支援の協力体制】

広域支援センターとしての体制はない状態。

### 【今後の課題】

災害時の協力体制の整備

## 豊肥圏域 竹田地域



センター長  
大久保 健 作



担当窓口  
甲 斐 恭 子



担当窓口  
亀 井 英 孝



### 【圏域の特徴・平成30年度目標】

- ・高齢化率が高い地域なので、高齢者の栄養や運動などに関するテーマでの活動を計画する。
- ・平成30年度に開催する研修会に医師の参加が得られるよう目指す。

### 【研修テーマ】

- ・「高齢者の栄養を考える」

### 【広域主催の主な研修内容】

地域包括ケアシステム研修会 「高齢者の栄養を考える」

講師 安永 正剛 氏（大久保病院 循環器内科部長）

（平成30年9月27日（木）18：30～20：30 竹田市総合社会福祉センター）

参加数：医療・介護・福祉従事者 31名、一般 0名）

### 【地域での連携状況】

竹田市総合事業等サービス事業実践力向上研修（体力測定）の講師派遣

（平成30年8月31日（金）：広域支援センターより4名、所属法人より1名派遣）

『健康長寿週一活動』通称KSK（Kenkoutyoujyu Syul Katudou）へのスタッフ派遣

2地区（初回評価、運動実施・助言、最終評価、6カ月評価の計画）

（平成30年9月11日（火）、9月18日（火）、11月27日（火）、12月26日（水）

平成31年1月24日（木）、1月31日（木） 各回1名派遣）

### 【圏域での災害支援の協力体制】

なし

### 【今後の課題】

- ・災害支援や災害派遣などについての啓発・研修の場を設けたい
- ・医師も参加する多職種連携に関する研修会を計画したい
- ・地域住民に向けた啓発活動を強化したい

## 西部圏域 日田玖珠地域



センター長  
林 田 良 三



担当窓口  
諫 山 昌 寿



担当窓口  
三 木 征 博



### 【圏域の特徴・平成30年度目標】

行政・他職能団体との顔の見える関係を維持し、在宅医療・介護の連携推進を図る。

### 【研修テーマ】

地域包括ケアシステム研修会

『障がい福祉サービスと障がい者就労支援』

### 【広域主催の主な研修内容】

日 時：平成30年11月16日（金）

内 容：地域包括ケアシステム研修会「障害福祉サービスと障害者就労支援について」

場 所：大分県済生会日田病院 2階会議室

講 師：障害者就業・生活支援センターはぎの 就労支援ワーカー 高橋 大樹 氏  
日田市役所 社会福祉課 障害福祉係 作業療法士 國政 和子 氏

参加者：40名（ケアマネージャー・相談員・精神保健福祉士：9名、看護師：2名、PT・OT：29名）

「地域包括ケアシステムとは、障がいのある高齢者のみが対象ではなく、若年の身体障がい者も対象となるのは既知のことである。これまで、高齢者の自立支援に係る施策はかなり進められてきたが、若年の身体障がい者については関わっているスタッフも少なく、決して十分とはいえない状況があると思われる」

上記のコンセプトを元に、2名の講師をお招きして研修会を開催した。

制度の狭間にいることが多い若年の身体障がい者の方々の自立支援について、ご講演をいただいた。また、その方々が地域の一員として共に生きることができる「地域共生社会」の実現への取り組みについて、国や日田市の現状についてもお話いただいた。

参加者のアンケートより、「これまで、障がい者の就労支援に関する研修会なんてなかったから、非常に参考になった」という感想が、多くみられた。

介護保険が始まって20年がみえてきており、高齢者への取り組みは進んできたが、若年の身体障がい者についてはまだまだの状況であるため、今後もこの分野の研修は必要と思われる。

## 【地域での連携状況】

地域リハビリテーション活動・地域との具体的連携・会議（回数）・共催の研修会・相談、施設利用

### （1）会議出席

- ①日田市在宅医療連携会議（2名：月1回：日田市医師会主催）
- ②西部圏域介護予防検討会（2名：11月：西部保健所主催）
- ③地域ケア会議（日田市）／PT 3名を派遣して計8回出席

### （2）相談・施設利用

特になし

### 講師派遣（回数）

- （1）特養養護老人ホームスタッフに対し拘縮予防についての講義（PT 1名：特養施設より依頼）  
（日時）平成30年8月24日（金）18：30～19：30 参加者約30名
- （2）ひた健康運動リーダーの方々への研修会（PT 1名：日田市健康保険課より依頼）  
（日時）平成30年9月4日（金）10：00～11：30 日田市役所 参加者約40名
- （3）パーキンソン病交流会への講義（PT 1名、OT 1名：西部保健所より依頼）  
（日時）平成30年9月21日（金）日田会場  
平成30年10月5日（金）玖珠会場 参加者各々約20名
- （4）平成30年度住民参画型介護予防研修会（PT 1名）  
（日時）平成30年9月27日（金）9：30～11：45 日田市役所 参加者約120名
- （5）自立支援型通所サービス研修会（2名×2回）  
（主催）日田市役所長寿福祉課 対象：デイサービス事業所職員  
（日時）【1回目】平成31年1月25日（金）17：30～19：00 PT 1名・OT 1名  
社会福祉法人慈愛会 有田ひまわりデイサービスセンター  
【2回目】平成31年2月21日（木）18：00～19：30 PT 1名・OT 1名  
日田ゆうあいデイサービスセンター  
（内容）デイサービス利用者に対する自立支援の考え方について

## 【圏域での災害支援の協力体制について】

災害リハ支援体制について圏域の協力施設との関係図・研修会等 → 未実施

## 【今後の課題】

災害支援の協力体制についてどのように行っていくか？

## 北部圏域 中津地域



センター長  
川島 真人



担当窓口  
島澤 真一



担当窓口  
杉木 知武



### 【研修テーマ・内容】

- 健康教室（計7回 講師：当院 Dr・PT・管理栄養士 参加人数：毎回約 50 名）
  - 肩周辺骨折の治療 平成 30 年 6 月 16 日（土）
  - 摂食・嚥下のメカニズム 平成 30 年 7 月 21 日（土）
  - 骨を強くする薬について 平成 30 年 8 月 18 日（土）
  - 認知症患者さんとの関わり 平成 30 年 9 月 15 日（土）
  - 簡単な健康運動 平成 30 年 11 月 24 日（土）
  - 変形性膝関節症の予防と治療 平成 31 年 1 月 19 日（土）
  - 食生活の四方山話 平成 31 年 2 月 16 日（土）
- 骨と関節の日 平成 30 年 10 月 6 日（土）（講師：当院 Dr、PT、Ns 参加人数：約 60 名）
  - 骨粗鬆症の予防 ロコ・トレ



### 【地域での連携状況】

- 転倒予防教室（PT 派遣 大幡地区 21 回・沖代地区 7 回 計 28 回）
- 中津市役所地域ケア会議助言者調整・派遣（各月 PT、OT 派遣 4～3 月 12 名）
- 中津市寄り合いの場への運動指導士派遣・調整 11 回（中津市内・本耶馬溪・耶馬溪・三光・山国）
- 中津市運動で健康づくり推進員養成講座 元気ハツラツ教室講師（PT 派遣 平成 30 年 9 月 26 日（水））
- 中津市医師会大腿骨近位部骨折地域連携パス作業部会  
（PT、OT 参加 平成 30 年 4 月 14 日（土） 9 月 29 日（土） 平成 31 年 1 月 26 日（土））
- 中津市地域包括支援センター運営協議会  
（PT 出席 平成 30 年 5 月 31 日（木） 平成 31 年 1 月 31 日（木））
- 中津市在宅医療介護連携推進協議会  
（PT 出席 平成 30 年 9 月 27 日（木） 平成 31 年 3 月 28 日（木） 作業部会参加 10 回）
- 北部保健所難病患者療養支援検討会（PT 出席 平成 31 年 2 月 22 日（金））

### 【圏域での災害支援の協力体制について】

- 中津市・県リハセンター・各協会への協力体制の整備

## 北部圏域 宇佐高田地域



センター長  
中原 成 浩



担当窓口  
小野 秀 幸



### 【圏域の特徴・平成30年度目標】

市町村事業と連携し、リハビリテーションの視点で北部圏域在宅医療介護連携推進を図る

### 【研修テーマ】

#### 1. 従事者向け研修会

人は運動を行う際に、様々な感覚を知覚しながら、目的に応じた合理的な動作を表出しています。患者の治療介入において「運動と知覚」の協調性に目を向けることで運動療法の幅は広がります。脳卒中患者だけではなく運動機能低下者、フレイルの高齢者など幅広い対象者に関わる際に必要な考え方を学ぶ機会としていきたい。

#### 2. 災害リハ研修会

行政（市町村）や保健所、各専門職団体が災害発生時の連携の在り方の基礎を学ぶ場面としたい。HUGも取り入れることで、研修会内容をより身近な感覚で理解できるようにしていきたい。

### 【広域主催の主な研修内容】

#### 研修会1

テ ー マ：「運動と知覚の協調性について」

日 時：平成30年6月24日（日）

講 師：樋口 貴広 氏（首都大学東京人間健康科学研究科）

参加者数：62名

#### 研修会2

テ ー マ：災害リハビリテーション「災害時私たちに何ができるのか？」

講演：災害医療の基礎「災害の概念とその心得」について

（講師）理学療法士・防災士 高橋 知良 氏

演習：避難所運営ゲーム（HUG）

（ファシリテーター）大分 JRAT 事務局

大分県地域リハビリテーション支援センター

日 時：平成30年9月8日（土）

参加者数：39名



#### 【地域での連携状況】

- 1) 地域ケア会議助言者派遣調整  
～宇佐市、豊後高田市
- 2) 地域ケア推進会議（宇佐市）参加：2回
- 3) 地域ケア会議助言者派遣（宇佐市）参加：4回（豊後高田市）参加：8回
- 4) 一般市民介護予防教室 講師参加：12回  
～宇佐市、安心院町、院内町
- 5) 宇佐市サロン教室 等 講師派遣：14回
- 6) 北部圏域在宅医療・介護連携推進会議参加：1回  
北部圏域難病患者療養支援検討会参加：1回

#### 【圏域での災害支援の協力体制】

災害リハ研修会の開催

#### 【今後の課題】

圏域内での災害支援体制の確立のため、行政機関や他団体との連携体制の構築に向け、継続的に取り組んでいく。また認知症カフェ等の人的支援体制の確立に向け準備を進めていきたい。

# 大分県下専門職能団体 (拡大運営会議構成団体) 活動報告

<記載項目>

①会の現状

②地域リハ関連の活動・取り組み

③地域リハ活動における課題・今後の展開



# 一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会



会長  
井 元 哲 也

## ① 会の状況

<正会員数> 272名（平成31年3月31日時点） 賛助会員 5団体

<執行部> 会長、副会長、理事 計15名

<会 議> 理事会開催 計10回

## ② 地域リハ活動の報告

<研修>

【初任者研修会】 計12回開催（延べ参加者290名）

実務経験が3年未満のソーシャルワーカーが相談支援専門職としての価値・視点を学び、基礎及び標準的な能力を習得することを目標とした研修。

【ステップアップ研修】 計2回開催（延べ参加者24名）

実務経験3年程度のソーシャルワーカーがこれまでに得た専門的知識・技術を実践に置き換えることにより、より高い実践力を得ることを目指した研修。

【スキルアップ研修】 計3回開催（延べ参加者61名）

中堅者及び上級者が指導者として、またリーダーとしてワンランク上のソーシャルワーカーとなるべく、専門的技術や知識、管理的能力の習得を目的として研修。

<学術>

【学術部レポート・コラム】 計8回配信 計9回配信

【社会資源活用アンケート】 5月実施

【社会資源活用ワークショップ】 計2回開催（延べ参加者95名）

【障害福祉サービス勉強会】 平成30年6月30日（土）開催（参加者74名）

【学術研究大会】 平成31年3月17日（日）開催 大分市連合医師会との共催（参加者130名）

<ネットワーク推進>

【会員動向・ニーズ調査の実施】 ホームページへ掲載（会員専用ページ）

【配置状況調査の実施】 項 目：①MSW数②取得済み資格（定期調査：2年に一度、4回目）

【地域意見交換会・懇親会の実施】 ①豊肥地区②県北地区③西部地区④中部地区

【リレーフォーライフ2018への参加】（参加者22名）

【介護研修センターまつり&元気フェア2018の開催】（大分県保健医療団体協議会）

MSW紹介パネル展示、医療福祉に関する相談・クイズコーナー

<広報>

【ホームページを活用した活動情報の発信】 研修案内等、全般の更新（計46回）

【メールマガジンによる情報発信】 登録者数 (293人 発行部数 79通)

【Facebookの運用、管理】 投稿、管理。投稿回数 (67回)

【LINEの運用、管理】 登録者数 (13人) 投稿回数 (32回)

【広報誌の発行】 協会ニュースかはら版の作成 (発行年3回 7月 10月 3月)

#### <災害支援>

【災害情報収集班によるマニュアル作成】

災害対策本部マニュアルをより実効性のあるものとして、アクションカード(案)作成に着手

【災害研修】 (参加者数 15名、部員 10名 合計 25名)

「避難所運営を学ぶ」と題し、『HUG(避難所運営ゲーム)』を行った。避難所運営支援に入る可能性があるソーシャルワーカーが、どのような視点で災害弱者への配慮や混乱する避難所の安定化を図ることができるのかを、ゲームを通して学んだ。

#### <地域包括ケア研究>

【公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の研究費助成調査実施】

「地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携推進の実際と課題」をテーマにインタビュー調査の実施し。分析・報告を行った。

(東京都豊島区医師会、新潟市在宅医療・介護連携ステーション、名古屋市医師会等)

### ③ 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

医療と介護の連携をはじめ、地域リハビリテーション、地域包括ケア推進における地域連携において医療ソーシャルワーカーが求められる役割は大きい。当協会においては、個人を支援するうえで最も重要となる個人の価値を尊重し、自己決定における支援を進める視点を持ち、地域生活の実現へ向けた支援を進めていくソーシャルワーカーの育成に寄与し続けることで地域の福祉向上の一端を担って行きたいと考えています。

# 公益社団法人 大分県栄養士会



会長  
土谷 洋子

## I. 会の現状

1. 栄養士会は管理栄養士・栄養士の資格を有し7つの職域分野にわかれ専門職として活躍している。栄養の日（8/4）・栄養週間（8/1～8/7）と定め「栄養の大切さ」を理解していただくために実践活動し地域社会に貢献している。

会員数 844名（平成31年3月31日現在）

職域分野（7）	支 部（7）
(1) 学校健康教育 49名	大 分（大分市・由布市）
(2) 公衆衛生 60名	別 府（別府市）
(3) 教育・研究 37名	東 部（日出・国東・杵築）
(4) 勤労者支援 11名	北 部（宇佐・中津・豊後高田）
(5) 地域活動 195名	豊 肥（竹田・豊後大野）
(6) 医 療 303名	南 部（佐伯・臼杵・津久見）
(7) 福 祉 189名	西 部（日田・玖珠）

2. 「県民の健康維持増進に貢献する」を目的に、生涯教育や7つの職域分野ごとの研修会を毎年開催し、「栄養・食生活」に関して支援が出来るように、資質・技術の向上を目指している。
3. 事業については、総務部・事業部・栄養ケア・ステーション部・広報部にわかれ理事がそれぞれ担当し円滑に運営できるよう社会のニーズに合わせた活動を展開している。

## II. 地域リハ関連の活動・取組

### 1. 研修会

- ① 生涯教育 年間15回開催 延べ1,322名参加
- ② 大分県リハ職等スキルアップ研修会（地域ケア会議アドバイザー強化研修）

月日	演 題	参加人数
8/5	・介護・医療の連携について ・症例検討	62
9/8	・高齢者の病態（CKD、DM、減塩） ・検査値と食事についての関連	68
10/17	・高齢者とのコミュニケーションとは ～安心して毎日楽しく暮らす～ ・パネルディスカッション 管理栄養士に望むこと	56
3/2	・介護・医療制度について ・訪問栄養指導等	56

### 2. 県外への研修支援

- ①熊本栄養士会
- ②高知県栄養士会

### 3. 関係会議・研修会運営等への出席

- ①大分地域リハビリテーション研究会運営部会

- ②大分地域リハビリテーション研究会役員会
- ③第15回大分県地域リハビリテーション支援センター拡大運営会議
- ④おおいた食のリハビリテーション研究会担当者会議  
 (栄養士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会・介護福祉士会)  
 ・第23回合同研修会・総会(7月22日(日))  
 ・第24回合同研修会(3月24日(日))
- ⑤大分県保健医療団体協議会(11団体)  
 ・第19回げんきフェア(11月11日(日))  
 ・創立20周年記念式典・祝賀会(3月3日(日))
- ⑥大分県社会福祉介護研修センターへの協力  
 ・介護職員現任者研修(訪問・通所介護事業所サービス計画担当者研修)  
 ・福祉施設管理栄養士・栄養士研修会(6月26日(火))・調理担当者研修会(6月15日(金))  
 ・摂食・嚥下セミナー(8月9日(木)・8月24日(金))

### Ⅲ. 人材派遣

#### 1. 地域ケア会議多職種助言者派遣事業

- ①派遣市町村 17市町村 回数 453回 管理栄養士 79名
- ②医師が参加する地域ケア会議(重複掲載)19回  
 ・大分市2回・津久見市2回・臼杵市2回・日田市8回・中津市2回  
 ・豊後大野市1回・豊後高田市2回
- ③認知症対応力向上のための地域ケア会議(重複掲載)3回  
 ・豊後大野市1回・国東市2回

#### 2. 各市町村介護支援事業への協力(講義、講話、調理実習等)

#### 3. 宇佐圏域、北部圏域研修会への協力(講義、講話)

### Ⅳ. 地域リハ活動における課題

- 1. 医療と介護との連携による在宅支援  
 ・高齢者の低栄養の改善・疾病の重症化予防
- 2. 地域ケア会議での栄養ケア・マネジメントに対する理解
- 3. 専門職としてのスキルアップ、管理栄養士の視点の統一
- 4. 在宅訪問栄養指導に対する理解
- 5. 認知症に対する理解

### Ⅴ. 地域リハ活動における今後の展開

#### 1. 栄養ケア・ステーション事業の充実

- ①在宅訪問栄養指導の必要性  
 ・高齢者の栄養改善、食生活全般を見る必要がある。複合的な疾病を持ち健康課題を有する高齢者に対して医師・歯科医師・薬剤師・ヘルパー・介護支援専門員等と連携を図りながら対応する必要があることを痛感している。  
 ・管理栄養士においては経験を担保し医療と介護の連携を密にして介護予防にもつながる在宅訪問指導の実現を計りたい。
  - ②電話無料相談事業の充実  
 ・乳幼児・妊産婦・障がい者(児)・若い世代男女に関する食生活全般
  - ③高齢者サロンの開設
- 2. 会員に対するスキルアップ研修会の実施
  - 3. 県民の公衆衛生に関する各事業に参加協力し、社会的責務を果たす

# NPO 法人 大分県介護支援専門員協会



理事長  
工 藤 修 一

特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会は、「介護保険制度が利用者主体の制度として確立されるよう、専門的知識及び技能を研鑽し、介護支援専門員の資質及び社会的地位の向上に努めることにより、公正・中立なケアマネジメントの実現を目指し、県民の健康と福祉の向上に寄与すること」を目的として、平成 18 年 2 月に設立された団体です。現在、1,010 名の会員が在籍し、県下 14 支部協議会が組織化されています。

## 基本方針

- 1) 介護支援専門員の専門的資質及び職業倫理の向上
- 2) 介護支援専門員の自主的、自立的職能団体の確立のための研修会などの開催
- 3) 各地域の介護支援専門員協会が行う自主的な活動を支援
- 4) 介護支援専門員の社会的地位の確立
- 5) 介護保険の円滑な実施とサービスの向上に寄与すること

## 平成 30 年度活動内容

### 1) 協会の運営

- |          |       |
|----------|-------|
| ①総会の開催   | 年 1 回 |
| ②理事会     | 8 回   |
| ③相談窓口の設置 | 随時    |

### 2) 組織強化

- ①新規会員の獲得、未加入地域の入会促進
- ②各地域協議会と連携し介護支援専門員の支援体制を強化
- ③日本介護支援専門員協会及び九州・沖縄ブロックとの連携
- ④事務局体制の整備

### 3) 研修・広報

- ①グループスーパービジョン（事例検討チーム）学習会
- ②介護支援専門員試験受験対策講座
- ③介護支援専門員全国统一模擬試験
- ④主任介護支援専門員研修
- ⑤主任介護支援専門員実践力向上研修

- ⑥主任介護支援専門員更新研修
- ⑦実務従事者基礎研修法定研修
- ⑧グループスーパービジョンメンバーによる主任研修プレゼンテーション
- ⑨実習指導者要請研修
- ⑩県南・県北地域での県介護支援専門員協会主催の研修
- ⑪その他介護支援専門員の資質向上に関する研修
- ⑫広報誌の発刊、月刊ケアリング「ケアマネージャー地方回覧板」

#### 4) 他団体との連携

大分県をはじめ、各種団体が行う会議等へ職能団として参画し、介護支援専門員の立場から積極的に意見や提言を行ってきました

##### 連携先団体名

- ・大分県老人福祉計画策定協議会
- ・大分県難病医療連絡協議会
- ・大分県在宅歯科診療検討部会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・大分県認知症施策推進会議
- ・大分県在宅医療連携委員会
- ・大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会
- ・大分県地域保険協議会高齢者介護小委員会
- ・大分大学福祉科学講座実行委員会
- ・脳卒中懇話会
- ・大分県地域リハビリテーション支援センター 運営委員会
- ・大分県社会福祉介護研修センター 運営委員会及び福祉用具部会
- ・大分県地域リハビリテーション研究会役員会
- ・大分県地域包括ケア研究会 世話人会
- ・大分県地域リハビリテーション研究会運営部会
- ・大分県介護ロボット普及促進協議会

介護支援専門員は地域の利用者の自立支援のため日常生活全般における総合的な支援をする“対人援助専門職”であります。それ故に介護支援専門員の職能団体としての組織力をより強化し、県内の介護支援専門員の一人ひとりの意見集約に努め、その役割を十分に担える環境を整備すること、そして、利用者の自立支援に繋がるケアマネジメントに対して高い評価が得られるよう積極的に活動を行うことが非常に重要であると考えられます。今後も行政及び各職能団体の皆様のご理解とご協力を賜り協会運営に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

# 一般社団法人 大分県介護福祉士会



会長  
田 中 努

## I. 協会の現状

平成 31 年 4 月 30 日現在 会員数 1,208 名

組 織	支 部
○専門研修部 ファーストステップ研修 基本研修 実習指導者講習会 サービス提供責任者研修 障害者のための支援研修	日出（別府市、日出町、杵築市、国東市、豊後高田市） 大分（大分市） 由布（由布市） 臼杵（臼杵市、津久見市） 佐伯（佐伯）
○学術研究部 通年研修	豊後大野（豊後大野市、竹田市）
○研 修 部 主催研修会の企画立案・実施	宇佐（宇佐市、中津市）
○教育研究部・講師養成事業 福祉の心醸成事業 出前講座 講師養成・講師派遣	日田（玖珠町、日田市）
○調 査 部 会員のニーズの調査等	
○広 報 部 広報誌「豊後梅」発行等	
○渉外事業部	

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 主催研修

- 第1回研修会 平成 30 年 6 月 3 日（日）「摂食嚥下障害への関わり方」 参加者 52 名
- 第2回研修会 平成 30 年 12 月 9 日（日）「現場から拘縮をなくすスキル」 参加者 55 名
- 第3回研修会 平成 31 年 3 月 17 日（日）「事例検討認知症・人材育成等」 参加者 44 名
- 通年研修 平成 30 年 7 月 11 日（水）・9 月 14 日（金）・10 月 30 日（火）・平成 31 年 1 月 9 日（水） 参加者合計 119 名
- 障害者支援のための研修会 平成 30 年 9 月 26 日（水）・27 日（木） 参加者 19 名
- 行動援護従事者養成研修 平成 31 年 1 月 30 日（水）・31 日（木）・3 月 5 日（火）・6 日（水） 参加者 16 名
- 福祉・介護人材確保助成事業 出前講座（県下福祉系高校への介護技術講座の実施 6 回）
  - ・大分県立大分南高等学校 2 回（平成 30 年 10 月 22 日（月）・10 月 30 日（火））
  - ・大分県立佐伯豊南高等学校 3 回（平成 30 年 6 月 22 日（金）・平成 31 年 3 月 15 日（金））
  - ・（学）岩尾昭和学園 昭和学園高等学校（平成 31 年 2 月 13 日（水））
  - ・大分東明高等学校 2 回（平成 30 年 12 月 19 日（水）・平成 31 年 3 月 12 日（火））
- 大分県社会福祉介護研修センター協力事業「子どものための福祉講座」 年 12 回 講師人数 47 名
- 大分市社会福祉協議会協力事業「福祉講座」平成 30 年 8 月～平成 31 年 1 月 13 回 講師人数 26 名
- 宇佐市社会福祉協議会協力事業「出前授業」平成 30 年 6 月～平成 30 年 10 月 3 回 講師人数 26 名
- 由布市社会福祉協議会協力事業「福祉体験教室」平成 31 年 2 月 1 回 講師人数 1 名
- 実習指導者養成講習会の実施
  - 第 1 G 平成 30 年 10 月 27 日（土）・28 日（日）・11 月 24 日（土）・25 日（日） 受講者 27 名

- 第2G 平成31年3月1日(金)・2日(土)・3月30日(土)・31日(日) 受講者36名  
 ○ヘルパー2級資格取得講座講師派遣 平成30年6月～8月 講師派遣人数2名  
 ○介護福祉士国家模擬試験 平成30年12月2日(日) 受験者22名  
 ○パソコンも学べる介護補助講習 平成30年7月～平成31年2月 講師派遣人数5名  
 ○高齢者活躍人材育成事業技能実習講習 平成30年11月13日(火)・14日(水) 講師派遣人数2名

#### 大分県地域リハビリテーション支援センター関連

- 大分県地域リハビリテーション支援センターの活動  
 ・第16回拡大運営会議出席 平成30年5月16日(水)  
 ・第15回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会 平成30年7月15日(日)  
 テーマ:介護予防の未来 ～住民主体で支え合う地域づくりに向けて～ スタッフ参加  
 ○大分県地域リハビリテーション研究会の活動  
 ・平成31年1月19日(土) アイネス大会議室  
 テーマ:地域連携に関わる薬剤師の取り組み スタッフ参加  
 ○おおいた食のリハビリテーション研究会の活動  
 ・平成30年7月22日(日) 第23回研修会「在宅への食支援～知りたい!ちょっとしたコツ～」参加  
 ○大分県社会福祉介護研修センター摂食・嚥下セミナー 講師派遣 平成30年6月～8月 講師派遣1名  
 ・平成30年12月6日(木)

#### 各種委員会への委員派遣

- ・大分県地域リハビリテーション研究会・大分県排尿リハビリテーションケア研究会
- ・大分県契約締結審査会委員・大分県ボランティアネットワーク委員会
- ・大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会・大分県災害ボランティアネットワーク運営委員会
- ・大分県老人福祉計画策定委員会・大分県社会福祉介護研修センター運営委員会
- ・大分県社会福祉介護研修センター福祉用具専門部会・介護認定審査会・大分県医療適正化推進協議会委員
- ・大分県国民健康保険運営協議会委員・大分県介護予防市町村支援委員会・大分県認知症施策推進委員
- ・大分県福祉人材確保推進協議会・福祉人材確保推進会議・大分県地域包括ケア研究会
- ・脳卒中懇話会世話人会・豊後大野市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会
- ・大分県介護ロボット普及促進協議会・大分大学福祉講座・大分県作業療法協会
- ・おおいた食のリハビリテーション研究会・大分市在宅医療、介護連携会議委員・自立支援ヘルパー検討委員会
- ・「人材不足分野における人材確保のための雇用管理改善促進事業(介護分野)」に係わる啓発実践委員
- ・教育過程編成委員会・日田市在宅医療連携会議委員・おおいた介護ロボット等導入促進協議会
- ・大分県高齢者福祉施策推進協議会・大分県社協第四次中長期活動計画「だいふくプラン2018(仮称)策定委員」

### Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域リハの定義に、「障害のある人や高齢者およびその家族が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、一生安全に、生き生きとした生活がおくれるよう、医療や保健、福祉および生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行う行動のすべてをいう」とあります。様々な課題がある中で、地域づくりが大きな課題であると考えます。私たち介護の専門職である介護福祉士の役割はご利用者様やそのご家族からニーズ(解決すべき課題)を抽出・分析し、必要な支援を判断すること、また直接支援をしていくことだと思います。日々多様化・複雑化している介護ニーズに対して、介護を必要とする方々の様々な生活行為・生活動作を支援し、支える知識と技術を育成していかなければいけません。そして、介護の魅力も発信し、介護人材確保にも力を入れていきたいと思っています。また、これからも他職種との連携を図りながらしっかりと取り組んでいきたいと思っています。



# 公益社団法人 大分県看護協会



会長  
竹中 愛子

## I. 大分県看護協会の現状

- 1 会員数は9,973名。(平成31年3月末現在)
- 2 看護職の資質向上のための教育・研修、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開など8つの事業を行うことにより、時代の変化と人々のニーズにあった安全で質の高い看護の提供をめざし、地域社会に貢献している。
- 3 事業は、職能委員会(4) 常任委員会(10)、特別委員会(5)の19委員会および県下を下記11の地域に分けた地区活動により展開している。  
 ①国東 ②別府・杵築・日出 ③大分中央 ④大分東部 ⑤大分西部 ⑥臼杵・津久見 ⑦由布 ⑧豊後大野・竹田 ⑨中津・宇佐・豊後高田 ⑩佐伯 ⑪日田・九重・玖珠地区での活動  
 \*地区活動：施設代表者会議等看護の連携推進事業、地区研修事業(DVDの教材を提供)、看護の日事業等の地区活動事業を実施。

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

### <教育・研修事業>

協会内で行う主な事業として、看護職の資質向上のための研修事業があり、平成30年度は、年間169研修・延473日実施し、受講者数は延19,963人。

### 1) リハビリテーション関連研修の実施状況

主なりハビリ関連研修

於) 大分県看護研修会館

	研 修 名	開催日・受講者数
1	最新の脳血管障害患者の治療と看護	1/20 62
2	在宅の看護実践能力を高める講習会 ～在宅看護に必要な最新の排痰ケアと呼吸理学療法	10/27 25
3	摂食嚥下障害患者の看護 ～口から食べることをサポートする看護実践～	11/ 9 59
4	摂食嚥下障害患者の看護<豊後大野・竹田地区へ出張研修> ～口から食べることをサポートする看護実践～	11/10 32
5	摂食嚥下障害患者の看護<佐伯・臼杵・津久見地区へ出張研修> ～口から食べることをサポートする看護実践～	11/11 32
	計	5回 210

### <県民の健康づくりの活動>

#### 1 げんき教室

毎月第4水曜日 14:00～15:30 計12回

会場：大分県看護研修会館 対象：高齢者等(一般)

参加者：延1,025人

#### 2 「まちの保健室」開催

各会場で血圧・体脂肪測定・血管年齢測定・骨密度測定・健康相談等を実施

①すこやか家族博覧会 於) コンパルホール1日(9/16)

来場者 800人

②大分市おおいた食と暮らしの祭典 於) ガレリア竹町 2日間(10/13.14) 来場者 延378人

③「人とみどりふれあいいち」

於) 平和市民公園 4日間(4/4・4/10・4/16・5/1)

来場者 延 268人

④大分県立図書館 2日間(5/27・10/28)

来場者 延 213人

⑤「げんきフェア」 於) 大分県社会福祉介護研修センター 1日(11/11)

来場者 365人

⑥あすびあフェスタ 於) 大分県身体障害者福祉センター 1日(10/28)

来場者 100人

3 「平成28年度看護フォーラム」(看護の日・看護週間事業)

テーマ「看護の心をナイチンゲールに学ぶ」

日 時:平成30年5月13日(日) 13:00~16:30

参加者 152人

・「ふれあい看護体験」

99施設・参加者 613人

<会議等>

1 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

期 日:平成30年7月15日(日)

会 場:ホルトホール大分

テーマ:介護予防の未来

参加者:120名 ←\*病院等の看護職および看護協会から1名参加

2 大分県地域リハビリテーション研究会研修会

期 日:平成31年1月19日(土)

会 場:アイネス大会議室

テーマ:地域連携に関わる薬剤師の取り組み

参加者:52名 ←\*病院等の看護職および看護協会から4名参加

3 運営部会に担当者3回出席

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

2019年度地域リハ関連の活動・取り組み

<教育・研修事業>

1) リハビリテーション関連研修

①リハビリ関連研修を継続し、在宅ケア領域の看護ケア能力均てん化推進事業として、中央で実施する研修を地域に出張し研修を行い、看護職の資質向上に取り組む。今年度は国東・杵築地区と中津・宇佐・豊後高田地区を予定している。

②在宅での療養者のための訪問看護等に関する事業を強化

県民が最期まで安心して在宅療養が送れるようにリハビリを含む質の高い訪問看護サービスや地域包括ケアが実施できるよう取り組む。教育機関として、学生の訪問看護実習受け入れ。

<県民の健康づくりの活動>

1) げんき教室 12回開催

2) 「まちの保健室」開催 6種類のまちの保健室開催予定

①すこやか家族博覧会 ②大分市食と暮らしの祭典 ③人とみどりふれあいいち

④大分県立図書館 ⑤げんきフェア ⑥あすびあフェスタ

3) 「2019年度看護フォーラム」(看護の日・看護週間事業)

日時:2019年5月12日(日) 13:00~15:30

特別講演:「道具の工夫で生活を改善しよう!」~福祉用具の活用で自立(律)生活を実現する~のテーマで、講師は松尾清美氏。(会場に福祉用具を展示)

<会議等>

1) 大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議

2) 大分県地域リハビリテーション研究会

・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会

・役員会、運営部会

3) 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

# 公益社団法人 大分県言語聴覚士協会



会長

木村 暢夫

## I. 協会の現状

- 1) 会員数及び施設数（平成 31 年 3 月 31 日現在）  
会員数：333 名 ※約 7 割が大分、別府に集中している  
施設数：98 施設
- 2) 構成：事務局（総務部、財務部、災害対策部）  
社会局（生涯学習部、広報部、福利厚生部）  
事業局（医療保険部、介護保険部、障害保健福祉部、地域活動推進部）

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

- 1) 言語障害友の会「なし会」関連
  - ①第 15 回なし会総会  
日 時：平成 30 年 5 月 27 日（日）  
場 所：J:COM ホルトホール大分  
内 容：なし会総会、交流会等  
参加者：27 名
  - ②なし会忘年会  
日 時：平成 30 年 11 月 25 日（日）  
場 所：ホテルサンバリー  
内 容：レクリエーション・交流会・食事会・三味線・民謡の鑑賞  
参加者：31 名
  - ③各ブロック会活動  
日 時：1～2 ヶ月に 1 回程度  
場 所：各ブロック会にて決定  
内 容：交流会、食事会、情報交換会等
  - ④啓発活動
    - ㊦失語症全国大会インおおいた（全国失語症友の会と共催）  
日 時：平成 31 年 3 月 16 日（土）  
場 所：ビーコンプラザ  
内 容：講演、シンポジウム等  
参加者：失語症者、家族、言語聴覚士、学生他約 500 名
    - ①言語聴覚の日イベント、パンフレットの増刷及び配布
  - ⑤なし会ホームページの運営  
内 容：各ブロックで随時更新
  - ⑥失語症会話サポーター養成講座（佐伯、玖珠）  
日 時：第 8 回平成 30 年 11 月 4 日（日）（大分会場）、第 9 回平成 30 年 11 月 12 日（月）（日出会場）  
場 所：第 8 回 J:COM ホルトホール大分 201 会議室（大分会場）  
第 9 回 日出町保健福祉センター（日出会場）  
内 容：失語症会話サポーターの養成、失語症についての啓発  
対象者：一般住民、医療関係者、介護支援専門員、介護職、当事者、家族等  
参加人数：大分会場 50 名 日出会場 32 名
- 2) げんきフェアへの参加  
第 19 回げんきフェア

日 時：平成 30 年 11 月 11 日（日）  
場 所：大分県社会福祉介護研修センター  
内 容：研修センター祭りとの共催で、医団協の啓発  
ST ブースでは、相談、体験コーナーを実施  
対 象：一般市民  
参加人数：ST ブースには 300 名参加（全体 1800 名）

3) 大分県地域リハビリテーション関連

①第 15 回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

日 時：平成 30 年 7 月 15 日（日）10：00～15：30  
場 所：J:COM ホルトホール大分 3 階大会議室  
内 容：介護予備の未来～住民主体で支え合う地域づくりに向けて～

②平成 30 年度大分県地域リハビリテーション研究会研修会

日 時：平成 31 年 1 月 19 日（土）19：00～21：00  
場 所：アイネス 大会議室  
内 容：地域連携に関わる薬剤師の取り組み

4) おおいた食のリハビリテーション研究会

第 22 回研修会

日 時：平成 31 年 3 月 24 日（日）9 時～11 時 30 分  
場 所：大分県社会福祉介護研修センター 大ホール  
内 容：「地域包括ケア時代の食支援～医科歯科連携と口のリハビリテーションのすゝめ」  
参加人数：78 名

5) 5 歳児発達相談会・巡回相談への派遣

・中津市 ～ 派遣回数 4 回  
・豊後高田市 ～ 派遣回数 4 回  
・杵築市 ～ 派遣回数 6 回  
・日田市 ～ 派遣回数 3 回  
・由布市 ～ 派遣回数 6 回  
・別府市 ～ 派遣回数 3 回

6) リハ関連団体及び県・行政との連携

①大分 JRAT 関連会議参加 ～ 参加回数 4 回

②平成 30 年度介護予防職員育成推進事業研修 サービス計画担当者研修 講師派遣  
～ 派遣回数 6 回

③平成 30 年度介護予防職員育成推進事業研修 介護職員現任者研修 講師派遣  
～ 派遣回数 2 回

④平成 30 年度大分市パワーアップ教室 講師派遣  
～ 派遣回数 4 回

⑤平成 30 年度大分県リハビリテーション専門職団体協議会研修会

・大分県地域ケア会議アドバイザー強化初任者研修会 ～ 9 回  
・大分県地域ケア会議アドバイザー強化現任者研修会 ～ 7 回

⑥平成 30 年度竹田市総合事業等実践力向上研修会講師派遣

⑦「地域の介護予防活動支援マニュアル」研修会講師派遣

（九重町、日田市、竹田市、中津市、豊後大野市、臼杵市、佐伯市、杵築市、大分市、宇佐市）

⑧「地域の介護予防活動支援マニュアル」平成 30 年度事業報告・講師養成研修会講師派遣

⑨（公社）大分県老人保健施設協会平成 30 年度リハビリ部会研修会講師派遣

⑩地域ケア会議助言派遣 派遣先：中津市、宇佐市、国東市、竹田市、佐伯市、杵築市

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域包括ケアシステム構築に向けた県内の取り組みが推進されるなか、コミュニケーションや食に対する地域支援に対する当協会の役割は大きいと考えます。令和元年度においても、言語障害友の会「なしかい」、家族会への協力や側方支援に加え、失語症会話パートナー養成講座による人材育成や啓発活動、更には小児領域の充実に向けても取り組んでいきます。

今後も、地域のニーズや行政機関からの要請に応えることができる専門職能団体として、大分県の地域リハビリテーション活動に貢献できるよう努力してまいります。何卒、宜しくお願い致します。

# 公益社団法人 大分県作業療法協会



会長  
高 森 聖 人

## I. 協会の現状（平成 31 年 3 月 31 日現在）

正会員数 1,036 名（うち自宅会員 56 名、休会者 22 名）／所属施設数 226 施設

賛助会員 4 団体、有識者理事 6 名

支部：大分中央、大分東、大分西、大分南、東部、西部、南部、北部、豊肥

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 啓発・普及事業

- 作業療法一日体験 平成 30 年 7 月～8 月 参加者：県内高校生 250 名
- 中学校の「職場体験」への協力 平成 31 年 3 月～ 対 象：市町村教育委員会  
（中学校の「職場体験」受入可能施設の把握と市町村教育委員会への情報提供）
- 市民公開講座 平成 31 年 2 月 11 日（月） 参加者：37 名
- 作業療法ミニフェスタ
  - 日出町「城下カレイ祭り」 平成 30 年 5 月 13 日（日） 来場者：約 300 人
  - 豊後高田市「高田こどもフェスタ」 平成 30 年 5 月 13 日（日） 来場者：約 300 人
  - 佐伯市「交通安全フェスタ」 平成 30 年 10 月 28 日（日） 来場者：約 300 人
  - 国東市「国東ふるさと祭り」 平成 30 年 11 月 11 日（日） 来場者：約 300 人
  - 大分市「春日まつり」 平成 30 年 11 月 11 日（日） 来場者：約 300 人
  - 豊後大野市「ふるさとまつり 2018」 平成 30 年 11 月 18 日（日） 来場者：約 100 人
- ジョブカフェおおいた 職業人講話 別府鶴見ヶ丘高等学校 平成 30 年 6 月 11 日（月） 参加者：15 名
- 「リレー・フォー・ライフ大分 2018」参加 平成 30 年 9 月 8 日（土）～9 日（日） 参加者：26 名
- 健康・子育て応援「すこやか家族博覧会 2018」作業療法コーナー設置 平成 30 年 9 月 16 日（日） 来場者：約 250 名
- 「大分大学開放イベント 2018」作業療法コーナー設置 平成 30 年 11 月 4 日（日） 参加者：50 名
- 「大分県社会福祉介護研修センターまつり&げんきフェア 2018」作業療法コーナー設置 平成 30 年 11 月 11 日（日） 来場者：約 300 名
- 第 3 回日田リハビリサミット 平成 31 年 2 月 15 日（金） 参加者：67 名

## 研修会等

- 第 22 回大分県作業療法学会 平成 31 年 1 月 20 日 (日) 参加者：176 名  
テーマ「作業療法・道～つながる業、そして新たなる挑戦 (わざ)」
- 人材育成道場 講師編 (4 回シリーズ) 参加者：5 名
- 人材育成道場 地域ケア会議助言者編 平成 30 年 9 月 14 日 (金) 参加者：7 名
- 地域ケア会議新規助言者研修会 平成 31 年 3 月 22 日 (金) 参加者：5 名
- 作業療法実践セミナー 平成 31 年 3 月 10 日 (日) 参加者：30 名
- 障害者スポーツ研修会 平成 30 年 6 月 23 日 (土) 参加者：29 名
- 制度対策研修会 平成 30 年 12 月 12 日 (水) 参加者：39 名
- 生活行為向上マネジメント研修会
  - ①基礎研修 平成 30 年 9 月 1 日 (土) 参加者：32 名
  - ②アドバンス研修 平成 31 年 2 月 9 日 (土) 参加者：30 名
  - ③事例検討会 平成 30 年 11 月 17 日 (土) 14 名  
平成 31 年 2 月 19 日 (火) 11 名
- 発達支援事業に係る人材育成研修会 基礎編 (全 5 回) 参加者：延べ 242 名
- 認知症アップデート研修会 (基礎編, 応用編, 報告会) 参加者：延べ 49 名
- 大分県地域ケア会議アドバイザー強化初任者研修 (全 9 回)・現任者研修 (全 7 回)  
(主催：大分県, 大分県リハビリテーション専門職団体協議会)

## 人材派遣等

- 市町村の地域ケア会議等への助言者及び広域支援員の推薦・派遣
  - 大分県地域ケア会議他職種派遣事業に係る助言者の推薦・派遣  
派遣先：16 市町／派遣者：60 名／派遣回数：238 回
  - 大分県地域ケア会議広域支援員派遣事業に係る広域支援員の推薦・派遣  
推薦者：リーディングコーディネーター 3 名, リーディングアドバイザー 5 名  
派遣先：2 市／派遣者：2 名／派遣回数：2 回
- 市町村等の介護認定審査会委員の推薦 推薦先：6 市／推薦者：17 名
- 豊後高田市乳幼児精密検診事業への人材派遣 派遣者：2 名／派遣回数：4 回
- 杵築市母子保健事業への人材派遣 派遣者：2 名／派遣回数：8 回
- 由布市親子教室 (運動編) への人材派遣 派遣者：2 名／派遣回数：6 回
- 別府市こどもへの発達相談会への人材派遣 派遣者：2 名／派遣回数：3 回
- 大分県高齢者福祉施策推進協議会への人材派遣 派遣者：1 名
- 在宅医療・介護連携推進事業 (大分県) への人材派遣 派遣者：4 名
- 別府市地域ケア連携システム会議への人材派遣 派遣者：1 名
- 各種研修会等への講師等派遣
  - 大分県内 派遣先：28 事業／派遣回数：63 回
  - 大分県外 派遣先：2 事業／派遣回数：2 回
- 大分 JRAT の災害リハビリテーション支援活動への協力

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| ●豊後大野市認知症初期集中支援チームへの人材派遣 | 派遣者：1名／派遣回数：12回 |
| ●別府市地域サロンへの人材派遣          | 派遣者：1名／派遣回数：1回  |
| ●住民参画型介護予防推進検討委員会への人材派遣  | 派遣者：2名／派遣回数：3回  |

#### その他

- |                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| ●広報誌「伝DEN」の発行 平成30年5月／2,300部 | 平成30年12月／2,700部 |
| ●地域活動に関する県内作業療法士の実態調査        | 回答数：346名        |
| ●認知症支援にかかわる作業療法士の現況調査        | 回答数：156名        |
| ●関連諸団体との連携                   |                 |
| ○関連諸団体の理事，監事，委員，世話人等         |                 |
| ○委員会・会議等への出席                 |                 |
| ○事業企画・運営への協力等                |                 |

### Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

近年、市町村からの母子保健事業への協力依頼が増加し、また、特別支援学校や放課後児童クラブ（学童保育）に関わる機会が得られ、「子ども」に関する人材派遣回数が増えたため、この領域における人材確保と育成が急務となり、発達支援事業に係る人材育成研修 基礎編を実施した。今後は、実践編を加え、増加する派遣依頼に対応できる人材の増員を図る。地域ケア会議や介護予防事業等に関する人材育成については、当協会主催事業のほか、大分県リハビリテーション専門職団体協議会が県から受託した「大分県地域ケア会議アドバイザー強化初任者研修」「同現任者研修」等により引き続き取り組んでいく。

また、平成30年度は、（一社）日本作業療法士協会が厚生労働省から受託した「介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会 全国設置・運営事業」に基づく大分県協議会の設置・運営に協力し、大分県介護福祉士会、県新産業振興室や企業等の協力を得て、介護現場のニーズに基づく介護ロボットの提案を行ったところで、平成31年度も日本作業療法士協会が本事業を受託したことから、関係機関・団体・企業等と連携し、障害者・高齢者の自立促進や介護負担の軽減等に資する提案を行っていく。

先般、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の見直しが行われ、平成32年度から臨床実習指導者の要件が変更される。地域で活躍できる将来の人材確保という観点からも非常に重要なことであるので、大分県理学療法士協会ならびに県内の理学療法士・作業療法士養成校と協力して、厚生労働省指定の臨床実習指導者講習会を開催し、県内において必要な臨床実習指導者を確保していく。

# 一般社団法人 大分県歯科医師会



会長  
長尾博通

## 1. 会の現状

会員数：626名（令和元年5月現在）

地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療、医療連携の関連分野を担当している。

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### \* 高齢者のよい歯のコンクール

口腔の衛生管理に努力し、80歳で20本以上自分の歯を保持している健康な方を表彰することで、口腔の健康の重要性を県民にアピールしている。昨年度は優秀賞4名、優良賞10名を選出し表彰した。

### \* 老人保健施設訪問歯科保健事業

老人保健施設・福祉施設を大分県歯科衛生士会と大分県歯科技工士会と共に訪問する。口腔内検診、歯科保健指導や口腔ケア、義歯のネーム入れ、また施設職員を交え入所者の口腔衛生管理の問題点を話し合う。平成30年度は、豊後大野市の「特別養護老人ホーム 紫雲荘」と隣接する「障がい者支援施設 本城苑」とを訪問した。

### \* 障がい者歯科保健研修会の開催

口腔ケアの知識の習得や障がい者歯科医療のネットワークづくりを目的として開催している。平成30年度の第1回研修会は、「障害者の歯科口腔保健の現状と今後」として、福岡歯科大学成長発達歯学講座障害者歯科学分野 教授、小島 寛先生に「大分県口腔保健センターでの取り組み」として大分県口腔保健センター歯科医師、天野 郁子先生にご講演いただいた。

第2回研修会では、大分県口腔保健センター歯科医師、天野 郁子先生に「地域で診る障がい者歯科について」という演題でご講演いただいた。

### \* 歯科医師認知症対応力向上研修会

認知症の早期診断・早期対応のための体制整備の一環として、歯科医院を受診する高齢者への対応が必要となる歯科医師に対し、認知症の患者本人とその家族を支えるために必要な知識や医療と介護の連携の重要性等を認識し、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の疑いのある患者の状況に応じた歯科治療・口腔管理を適切に行い、認知症患者への支援体制構築の担い手の育成を目的に実施した。



「歯科医師認知症対応力向上研修」として大分県医師会常任理事の井上雅公先生に、「認知症高齢者への歯科専門職チームの役割」として東京都健康長寿医療センター研究所歯科医師／研究員の枝広 あや子先生にご講演をいただいた。

\* 各種委員会、協議会、研修会への参加

- ・大分県リハビリテーション協議会
  - ・大分県介護予防市町村支援委員会
  - ・豊の国 8020 運動推進協議会
  - ・大分県障がい児・者歯科保健検討部会
- 等

3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

障がい者歯科治療を行える地域歯科医院を増やすために、大分県口腔保健センターを利用し、障がい者歯科地域協力医育成事業を行う。障がい者歯科高次医療機関である大分県口腔保健センターと地域歯科医院との連携を整備する。

認知症施策では、昨年より歯科医師対象の認知症対応力向上研修会を開始している。今年度は認知症専門医師を講師に迎え、本県の現状を再認識し多職種との連携強化を図る。

がん診療拠点病院と地域歯科医院の連携事業は6年目に入ったが、連携患者数は伸び悩んでいる。拠点病院へ歯科介入の重要性を周知させるとともに、地域歯科医院の患者さんの受け入れ体制を充実し、連携を活発にする。

# 一般社団法人 大分県歯科衛生士会



会長  
有松 ひとみ

- I. 協会の現状 会員数 238名（平成31年3月31日現在）  
 3支部 県南地区（佐伯・津久見・臼杵）豊肥地区（竹田・豊後大野）日田地区  
 2019年設立予定 県北地区（中津・宇佐・豊後高田）

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

### II-1 主催研修会

#### 【認知症対応研修会】

日時	内容	講師	人数
平成30年5月13日（日） 10:00～12:10 ホルトホール大分	認知症との向き“愛”方	医療法人さくら会 わかば台クリニック 山内 勇人先生	35名

#### 【医科歯科連携研修会】

平成30年5月20日（日） 10:00～12:05 植田行政センター	「周術期（がん患者等）の口腔ケア」 医科歯科連携の概要と流れ 周術期（がん患者等）の口腔ケアの実際	大分大学医学部 教授 河野先生 大分大学医学部 歯科衛生士 山崎 靖子氏	36名
--	---	--	-----

#### 【母子保健事業】

平成30年7月1日（日） 10:00～12:00 ホルトホール大分	大分市における児童生徒の 歯と口の健康づくりについて ～現状と課題等、学校歯科医の立場から～	にしざわ歯科口腔外科クリニック 院長 西澤 浩太郎先生	32名
---	--	--------------------------------	-----

#### 【歯周病研修会：知識編】

平成30年8月18日（土） 15:00～18:30 ホルトホール大分	SPT・メンテナンスに必要な知識と技術	岸本歯科医院 岸本 隆明先生	57名
--	---------------------	----------------	-----

#### 【歯周病研修会：実技編】

平成31年1月20日（日） 9:30～12:40 大原学園	スケーリング・ルートプレーニング シャープニングの実践	フリーランス歯科衛生士 鍵和田 由香里先生	20名
-------------------------------------	--------------------------------	--------------------------	-----

#### 【地域ケア会議人材育成研修会（一部抜粋）】

平成30年9月29日（土） 13:00～15:00 ホルトホール大分	摂食嚥下の検査と評価・直接訓練	独立行政法人 国立病院機構 西別府病院 摂食嚥下（のみこみ）外来 尾崎 由衛先生	46名
平成31年1月19日（土） 15:00～18:00 大原学園	歯周病メンテナンスが 健康寿命延伸の鍵	フリーランス歯科衛生士 鍵和田 由香里先生	36名
平成31年1月26日（土） 14:00～18:00 コンパルホール	災害時の対応を想定した出前講座	東京医科歯科大学 中久木 康一先生 大分県薬剤師会 伊藤 裕子先生	34名
平成31年2月24日（日） 14:00～18:00 ホルトホール大分	地域の介護予防活動支援マニュアル研修会 -住民リーダーを育成するジェネラリスト講座 地域ケア会議助言者報告会	大分県理学療法士協会 井手 宗樹先生 大分県歯科衛生士会 会員	28名

#### 【第5回大分県歯科衛生士フォーラム】

平成30年10月14日（日） 9:30～15:00 男女参画プラザ アイネス	“歯科衛生士の明日を拓く” 21世紀のカリオロジー根面う蝕から歯を守る ～いま果たすべき歯科衛生士の役割～	日本歯科保存学会 う蝕治療ガイドライン作成委員会 中島 省志先生 ランチョンセミナー ライオン株式会社 諸星 裕也氏 神奈川歯科大学 口腔衛生学 教授 荒川 浩久先生	74名
--	---	---	-----

【県委託事業】

平成 30 年 12 月 2 日 (日) 10:00～13:00 ホルトホール大分	発達期の摂食嚥下リハビリテーション	鹿児島大学小児歯科分野 佐藤 秀夫先生	66 名
---	-------------------	------------------------	------

【復職支援 リカバリーセミナー】

平成 31 年 2 月 24 日 (日) 9:30～12:40 大分県歯科医師会館	歯科衛生士の社会的使命と心得 最近の歯科衛生士の仕事について 口腔内撮影(実習) 最近の歯科材料・器材	大分県歯科医師会 松成 篤先生 大分県歯科衛生士会 梶原 夏美氏 大分県歯科衛生士会 伊村 友理恵氏	26 名
---	---	--	------

II-2 後援・協力研修会 【抜粋】

- ①大分県地域包括ケア推進大会 12月13日(土) 別府ビーコンプラザ国際会議場
- ②大分県在宅医療・介護連携全体研修 8月25日(土) 別府ビーコンプラザ国際会議場
- ③第15回大分県地域リハビリテーション研究会、県リハ支援センター合同研修会
- ④第7回大分地域リハビリテーション研究会研修会  
テーマ「地域連携に関わる薬剤師の取り組み」1月19日(土) アイネス
- ⑤第23回 第24回おおいの食のリハビリテーション研究会研修会
- ⑥大分県保健医療団体協議会 (担当会：大分県放射線技師会)  
11月11日(日) 元気フェア2018 3月3日(日) 20周年祝賀会
- ⑦TOSすこやか家族博覧会 9月16日(日)

II-3 講師等派遣 【抜粋】

- ①地域包括ケアシステム推進事業 (県内・県外) 及び17市町村地域ケア会議助言者
- ②大分圏域介護予防事業及び口腔機能向上事業
- ③障がい児(者)施設含む県内市町村の母子事業及び地域支援事業
- ④大分県域リハ職等派遣事業

II-4 会議出席 【抜粋】

- ①地域リハビリテーション関係 役員会 運営委員会
- ②行政関係 (県及び市町村)  
大分県 8020 運動推進協議会 大分県口腔機能向上栄養専門部会  
大分県介護予防市町村支援委員会 各市町村母子保健委員会  
大分県介護医療推進協議会 各保健所地域歯科保健検討会 他

II-5 大分県歯科医師会(協力) 高齢者・障がい者訪問事業

- ①平成30年6月3日(日) 歯と口の健康週間(大分市2会場) 来場者779名
- ②平成30年8月25日(土) 特別養護老人ホーム紫雲荘(豊後大野市)

II-6 大分市内小中学校 歯科保健指導事業 小学校31校 中学校8校

II-7 ボランティア活動

- ①別府市西別府病院 口腔ケアボランティア活動
- ②大分県域支援学校歯みがき指導ボランティア
- ③災害関連 8月4日(土)(大規模地震医療活動訓練)  
9月1日(土)(検討会) 1月7日(月) 検証会
- ④認知症カフェ関連 大分県歯科衛生士会主導「手をつなごう」(大分市小野鶴)
- ⑤子ども食堂支援(歯みがき指導 他) 大分市 3会場・別府市 1会場

III. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

人々が支え合いながら美しい文化を生む意味を持つ新元号『令和』は、超高齢社会真っ只中の日本において、推進している地域包括ケアの目指すべき姿に繋がっていると感じます。

平成最後の昨年度、日本歯科衛生士会は設立65周年となり、日本歯科衛生士法が制定されて70年といった節目のときでもありました。国民目標である健康寿命延伸する一助となるためにも、歯科衛生士の専門性を発揮しつつ、復職支援を含めた人材育成や災害対応に力を注ぎながら、スキルアップ研修会と情報提供・他職種とのネットワーク構築に取り組んでいきたいと考えています。

# 大分県視能訓練士会



会長

安 田 昌 子

## 1. 会の現状

会員数 150名（令和元年5月1日現在）

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

〈他団体との共催・後援事業〉

- ・第15回大分県リハ支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会 合同研修会

日 時：平成30年7月15日（日）10：00～15：30

場 所：ホルトホール大分 大会議室

テーマ：介護予防の未来～住民主体で支え合う地域づくりに向けて～  
スタッフにて参加

- ・アイフェスタ in 大分

日 時：平成30年10月8日（月・祝）10：00～16：00

場 所：コンパルホール

内 容：大分県眼科医会主催，眼に関する団体が集まったイベント  
動く眼科診療室「ビジョンバン」による眼科無料検診  
眼の簡易検査コーナーにて眼の検査を実施  
館内の案内，誘導も担当

- ・センターまつり&げんきフェア2018

日 時：平成30年11月11日（日）10：00～15：00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：眼の健康チェック，パネル展示（ブース来場者 約200名）

- ・平成30年度大分県地域リハビリテーション研究会 研修会

日 時：平成31年1月19日（土）18：30～20：25

場 所：アイネス 大会議室

スタッフにて参加

〈主催の研修会〉

- ・第10回勉強会

日 時：平成 30 年 9 月 9 日（日）10：00～12：10

場 所：大分視能訓練士専門学校

内 容：

(1) 講演

「神経眼科を理解するための脳の解剖生理」

北村 裕和 先生（大分大学医学部 診断病理学講座）

「眼窩～頭蓋内疾患による眼症状について」

楠瀬 真美 先生（大分大学医学部 眼科学講座）

参加者：37 名

・第 11 回勉強会

日 時：平成 31 年 3 月 10 日（日）9：45～11：45

場 所：ホルトホール大分 2 階セミナールーム

内 容：講習

「眼科スタッフのための接遇」

垣見 希宗子 氏, 竹村 寛子 氏（株式会社メニコン）

「コンタクトレンズについて」（株式会社メニコン）

参加者：42 名

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

まだ地域リハ活動について会員の意識が低く、十分に理解していないというのが現状です。今回、大分県眼科医会主催のイベントに参加し、視覚に関わる他団体と交流できました。これを機に会員の意識が変わり、少しでも地域に貢献できる活動を増やしていければ、と考えております。今後ともよろしく願い申し上げます。

# 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

会長

深見 憲一

## 1 会の現状

会員センター 59センター

- ・地域包括支援センター 50センター
- ・在宅介護支援センター 3センター
- ・地域総合相談支援センター 6センター

## 2 主な活動・取り組み

### (1) 研修会等の開催

#### ① 平成30年度大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター第1回研修会

(大分県老人福祉施設協議会と共催)

期 日 平成30年9月11日(火)

会 場 大分県総合社会福祉会館 4階 大ホール

参 加 64名(包括協会員22名・老施協会員42名)

内 容 講義:「おもてなしの心とマナー研修」

講師:筑波大学客員教授 江上 いずみ 氏

#### ② 平成30年度大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター第2回研修会

期 日 平成30年11月6日(火)

会 場 大分県総合社会福祉会館 4階 大ホール

参 加 55名

内 容 講義:「地域包括支援センター等の役割と意義について

～役割・心構え・やりがい・楽しみ～」

講師:全国地域包括・在宅介護支援センター協議会研修委員

前橋市地域包括支援センター西部 主幹 山田 圭子 氏

### (2) ブロック活動

各市町村ブロック組織での研修会や介護等の活動に対する支援

## 3 情報提供

他機関が実施する各種研修会への参加案内

## 4 関係機関・団体との連携

### (1) 県内関係機関・団体との連携

県内関係機関・団体の会議等への出席

### (2) 県との協調・支援

### (3) 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

# 大分県地域リハビリテーション研究会



会長  
武居 光雄

## 1. 会の現状

- 会 長：武居 光雄
- 副 会 長：三浦 晃史、有松 ひとみ
- 幹 事：各団体より代表者1名
- 監 事：長岡 博志、高畑 智浩
- 顧 問：根橋 良雄、原田 禎二、本田 昇司
- 名誉顧問：佐竹 孝之
- 所属団体：16 団体

大分県地域リハ医師懇話会	(公社)大分県理学療法士協会
(公社)大分県作業療法協会	(公社)大分県言語聴覚士協会
(公社)大分県看護協会	(公社)大分県薬剤師会
(公社)大分県栄養士会	(公社)大分県放射線技師会
(公社)大分県臨床検査技師会	(公社)大分県臨床工学技士会
(一社)大分県歯科衛生士会	(一社)大分県介護福祉士会
(一社)大分県医療ソーシャルワーカー協会	大分県介護支援専門員協会
大分県臨床心理士会	大分県視能訓練士協会

## 2. 平成 30 年度 活動報告

### ①第 15 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催

日 時：平成 30 年 7 月 15 日（日）

会 場：ホルトホール大分 大会議室

参加者：149 名

インテマ：『介護予防の未来～住民主体で支え合う地域づくりに向けて～』

#### ➤ シンポジウム

テーマ：『「通いの場」もっと活かしたい！“住民力”』

シンポジスト①：大分県高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 主幹 渡邊 康弘 氏

シンポジスト②：佐伯市高齢者福祉課 地域包括支援センター 副主幹 亀井 聡子 氏

シンポジスト③：社会福祉法人 中津市社会福祉協議会 地域福祉課長 吉田 瑞穂 氏

アドバイザー：筑波大学大学院 人間総合科学研究科 生涯発達専攻 准教授 山田 実 氏

座 長：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居 光雄

②平成 30 年度大分県地域リハビリテーション研究会研修会の開催

日 時：平成 31 年 1 月 19 日（土）

会 場：大分県消費生活・男女共同参画プラザ、アイネス 大会議室

参加者：53 名

テーマ：『地域連携に関わる薬剤師の取り組み』

講 師：萬里薬局 神田 秀一郎 氏（大分県薬剤師会）

ブンゴヤ薬局 荘司 晃寿 氏（大分県薬剤師会）

③名義後援

➤ 第 79 回九州山口薬学大会（平成 30 年 11 月 3 日（土）・4 日（日））

➤ 第 36 回大分県病院学会（平成 30 年 11 月 18 日（日））

➤ 第 20 回日本言語聴覚学会（令和元年 6 月 28 日（金）・29 日（土） 後援予定）

④広報誌の発行

第 25 号：メールにて配信（平成 31 年 3 月 31 日発行）

⑤運営部会の開催

第 1 回：平成 30 年 6 月 25 日（月）

第 2 回：平成 30 年 9 月 4 日（火）

第 3 回：平成 30 年 11 月 26 日（月）

⑥役員会の開催

第 30 回：平成 30 年 6 月 5 日（火）

3. 今後の展開・方向性

平成 30 年を表す漢字は『災』となり、災害の多い年でもありました。当会でもこれまでに『災害』と『地域連携』をテーマに研究大会や勉強会等を開催しました。

災害時に限らず適切な医療・介護を安心して受けられる地域包括ケアシステムの構築は喫緊の課題です。そのためには各職能団体の横の繋がりが重要と考えます。リハビリテーションに携わる他分野の関係団体とも連携を図り積極的な取り組みを開始する時期です。多職種間の相互理解と連携を深め、地域包括ケアシステムの構築を目指し勇往邁進していきたいと思えます。



# 一般社団法人 大分県病院協会



会長

川 眞 人

## I. 協会の現状

### 1. 病院協会の現状（平成 31 年 3 月 31 日現在）

(1) 会員数 127 病院

(2) 構成

- ・ 会 長 川 眞 人（川 眞 整形外科病院）
- ・ 副会長 畑 洋 一（畑 病 院）
- ・ 副会長 小 寺 隆（佐伯中央病院）
- ・ 地区毎の理事、及び所属病院数
  - 県北（所属病院数 24） 理事 川 眞 人、佐藤 仁 一、瀧上 茂
  - 別 杵（所属病院数 23） 理事 畑 洋 一、黒木 健 次、山本 記 顯、内田 明 宏
  - 大 分（所属病院数 47） 理事 武居 光 雄、井野邊 純 一、帆秋 善 生、秋満 忠 郁、立川 洋 一
  - 久 大（所属病院数 20） 理事 山本 亨、山下 太 郎
  - 豊 肥（所属病院数 4） 理事 大久保 健 作
  - 県 南（所属病院数 10） 理事 小 寺 隆、曾根 勝
- ・ 監 事 豊田 貫 雄、長松 宜 哉
- ・ 顧 問 岡 宗 由

### 2. 活動の重点項目

- 1) 医の倫理とリスクマネジメントの高揚
- 2) 各病院の診療機能を活かした質の向上と効率化の徹底
- 3) 行き届いた患者サービスの向上と思いやりのある医療を目指す
- 4) 各病院のIT化とITネットワーク情報システムの構築
- 5) 患者中心の連携システムの向上
- 6) 地域リハビリテーションの推進
- 7) 病院機能評価への挑戦と対応
- 8) 各種研修会による全病院職員の質的、能力的向上、責任を持って仕事を遂行する意欲の向上
- 9) 会員相互の親睦と信頼性、連帯感の向上
- 10) 来るべき大災害に対して十分に備える医療
- 11) 地域包括ケアシステムの構築に備える
- 12) 地域医療介護総合確保基金（医療分）に対する取り組み
- 13) 働き方改革に備える
- 14) 更なる質の向上を目指して病院学会を成功させる

## II. 地域リハ関連の活動・取り組み

### A. 病院協会の活動報告

1. 平成 30 年度一般社団法人大分県病院協会 定時社員総会
  - ・開催日時 平成 30 年 6 月 23 日（土）午後 3 時
  - ・場 所 レンブラントホテル大分 2F 二豊の間（大分市田室町 9-20）
  - ・特別講演 参加者 66 名
2. 理事会 計 6 回開催
3. 第 36 回大分県病院学会 実行委員会 計 2 回開催  
第 36 回大分県病院学会 運営委員会 計 10 回開催
4. 第 36 回大分県病院学会
  - ・開催日時 平成 30 年 11 月 18 日（日）8：30～16：10
  - ・場 所 別府市山の手町 ビーコンプラザ
  - ・学会テーマ 「不撓不屈～つながる力、持ちこたえる力を増強しよう～」
  - ・参加人員（概数） 計 2,358 名
  - ・特別講演 日本の保健医療の動向（医療保険と介護保険）
  - ・シンポジウム「都市型連携 中都市型連携 過疎地型連携 ～これからどうなる医療現場～」
  - ・分科会 演題総数 164 題（口演 63 題・ポスター 101 題）
5. 名義後援
  - ・公益社団法人大分県老人保健施設協会
  - ・大分県地域リハビリテーション研究会
  - ・大分県リハビリテーション医学会
  - ・大分県リハビリテーション協議会
  - ・公益社団法人大分県言語聴覚士協会 他

### B. 部会（コメディカル部門）の活動報告

1. 事務部会
  - ・研修会 計 2 回開催、委員会 計 1 回開催
2. 看護部会
  - ・研修会 計 2 回開催、委員会 計 3 回開催
3. 栄養部会
  - ・研修会 計 3 回開催、委員会 計 4 回開催
4. 社会福祉部会
  - ・研修会 計 1 回開催、委員会 計 5 回開催

## III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

全県下に於いて県及び市町村主導による地域包括ケアシステム構築が進んできました。大分県病院協会に所属する会員病院が大分県各圏域の中中学校区における基幹病院としての役割を果たし、病々連携、病診連携、介護・保健との連携も含めて役割を果たし、対象となる県民（高齢者、障害者、障害児等）の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように協力を惜しみません。また、災害時の医療拠点として、JMAT、AMAT 及び大分 JRAT にも総力を挙げて協力する体制を構築しました。

# 公益社団法人 大分県放射線技師会



会長

江 藤 芳 浩

## I 本会の現状

会員 377 名（平成 31 年 3 月末現在）

本会は放射線に関する知識の普及啓発及び診療放射線学の向上発達を図るとともに県民の健康福祉の向上に寄与することを目的とし、県民への正しい放射線の知識の普及と啓発、放射線の管理及び障害防止の調査研究、診療放射線学の向上に関する研究及び指導、地域保健医療及び公衆衛生事業の推進と協力、放射線災害時に対応できる放射線測定技術者育成のための放射線量測定事業等を活動の柱として活動を行った。

## II 事業

### 1. 大分県放射線技師会学術大会（主催）

#### 1) 大分県放射線技師会第 25 回学術大会

日 時：平成 30 年 9 月 2 日（日）

場 所：社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院

テーマ：「スポーツ外傷の診断と治療」

特別講演 I：「歩行支援ロボット HAL の講演と体験」

特別講演 II：「スポーツ整形の診断と治療 ～膝関節を中心に～」

#### 2) 大分県放射線技師会第 26 回学術大会

日 時：平成 31 年 1 月 5 日（土）

場 所：ホルトホール大分 201 会議室・202 会議室

テーマ：「股関節の画像診断」

特別講演：「変形性股関節症から人工股関節 X 線撮影法の見直し

—骨変化のドラマを描出する X 線撮影とは！—」

### 2. 放射線量測定事業

平成 30 年度は大分県内 39 施設について放射線管理区域漏洩線量測定報告書の作成を行うとともに、測定医療施設の診療放射線技師または職員に放射線量測定について指導を実施した。

### 3. レントゲン週間イベント（主催）

第 15 回レントゲン週間イベントを、瑞木 恵一理事を  
実行委員長とし、平成 30 年 9 月 16 日（日）、コンパルホ  
ールにて開催した。大分県の平成 30 年度健康寿命日本一お  
おいた推進フォーラムにブースを出展して参加し、乳がん  
自己検診啓発、骨密度測定等を実施した。



#### 4. げんきフェア（共催）

大分県保健医療団体協議会の平成30年度の代表（事務局）を本会が務めた。

##### 1) 平成30年度「センターまつり&元気フェア2018」

日 程：平成30年11月11日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：マンモ触診疑似体験・相談、マンモ自己検診パンフレットの配布、骨密度測定

##### 2) 平成30年度 大分県保健医療団体協議会創立20周年記念式典・記念講演・祝賀会

日 程：平成31年3月3日（日）

場 所：レンブラントホテル大分「二豊の間」

記念講演：「健康寿命日本一を目指して 大分県保健医療団体への期待」

#### 5. 訪問授業（主催）

大分県内の4校を訪問し、学生に正しい放射線の知識に関する授業を行った。

・中津市立大幡小学校

平成30年6月22日（金）

・藤華医療技術専門学校理学療法・作業療法学科

平成31年1月16日（水）

・藤華医療技術専門学校看護科3年

平成31年1月30日（水）

・藤華医療技術専門学校看護科1年

平成31年3月8日（金）



#### 6. 女性活躍推進事業：第5回FRT九州研修会

日 程：平成30年7月21日（土）

場 所：ホルトホール大分 201・202 会議室

教育講座

「明日から使える、被ばく相談の基礎知識」

「大分県放射線技師会の被ばく相談事業にみる被ばく相談の傾向」

「女性と小児の医療被ばく、ちゃんと説明できますか？」



特別講演「マネジメントしていますか？ ～人材育成と研修のすすめ～」

基調講演「女性活躍と更年期 ～働く女性の身体トリセツ～」

シンポジウム：テーマ「素敵なミドルシニア・シニアライフのために」

「ワーク・ライフ・バランスの正しい理解と取り組み」

「健康なミドルシニア・シニアライフのための栄養学」

「大学院にチャレンジしませんか？」

「JART 超音波研修事業 ～セカンドキャリアのために～」

#### 7. 第26回大分県放射線技術研究会（共催）

日 時：平成30年10月27日（土曜日） 15：00

場 所：大分県薬剤師会会館

特別講演「プロフェッショナルを目指して -救急撮影放射線技術の流儀-」

8. 大分県放射線機器管理研究会（共催）

1) 第 11 回大分県放射線機器管理研究会

日 時：平成 31 年 2 月 16 日（土） 15：00～15：35

場 所：医療法人恵愛会 中村病院 5階 会議室

テーマ「災害発生時の事業継続計画（BCP）」

テーマ講演「災害発生時の事業継続計画（画像診断）について」

9. 平成 30 年度原子力防災訓練（大分県、愛媛県合同訓練）

日 程：平成 30 年 10 月 12 日（金）

場 所：佐賀関港、佐伯港

訓練内容：愛媛県からの避難者受入訓練（放射線サーベイおよび除染）実施



10. 大分県医用画像情報管理研究会（共催）

1) 第 16 回大分県医療画像情報管理研究会

日 時：平成 30 年 9 月 8 日（土）

場 所：大分記念病院 1階 多目的ホール

テーマ：「一般撮影の FPD」

特別講演：「一般撮影用 FPD システム導入に伴う撮影条件の構築」

2) 第 17 回大分県医療画像情報管理研究会

日 時：平成 31 年 2 月 16 日（土）

時 間：15：40～18：00

テーマ講演「災害発生時のシステム運用について ～メーカーの立場から～」

特別講演「災害発生時の事業計画（BPC）（仮）」

11. 第 15 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会

日 時：平成 30 年 7 月 15 日（日）

会 場：J:COM ホルトホール大分

報告 1 「平成 29 年度地域リハビリテーション活動報告と平成 30 年度の事業計画」

報告 2 「平成 30 年度大分県からの事業説明」

特別講演「地域づくりと介護予防 ～フレイル概念から考える健康寿命の延伸の在り方～」

シンポジウム「通いの場」をもっと活かしたい！“住民力”

Ⅲ 地域リハ活動における課題と連携

1. リハビリ機能評価と画像情報の関連について他職種と連携し、有益な検査方法を検討する。
2. 骨密度測定を行う立場から転倒予防教室等や医療チームなどの活動に積極的に参画する。
3. 読影補助による専門性を生かした他職種への情報提供を行う。
4. 大規模災害時に他職種と連携し、専門性を生かした支援を行う。
5. ワイヤレス X 線撮影装置、ノート型 US 装置を利用した在宅・往診検査の推進。
6. 県民へ正しい放射線の知識の普及を図る事業を行う。
7. 患者に対する放射線検査説明、被ばく相談に対応する。

# 公益社団法人 大分県薬剤師会



会長  
安 東 哲 也

## 1. 会の現状

会員数 1,578 名（令和元年6月1日現在）

当会は、「患者のための薬局ビジョン」に基づき、地域包括ケアシステムの中で、かかりつけ薬剤師・薬局が地域のチーム医療の一員として服薬情報の一元的・継続的な把握や在宅での対応を含む薬学的管理・指導等の機能を果たすことを目標としている。

当会では、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域ケア会議への参画、かかりつけ薬剤師・薬局、健康サポート薬局の推進のための研修会等を開催した。

併せて、大分県が進める県民の健康づくり「健康寿命日本一おおいた」への参画、高齢者サロン等で講演をおこなう「お薬健康相談会」など、地域・職域薬剤師会との連携の下、組織強化を図り、県民の健康な生活環境の確保・向上に寄与していくことを目的とした事業等を行った。

## 2. 地域リハ活動の報告

当会では、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組みを行った。

- ① 地域ケア会議への参画
- ② かかりつけ薬剤師・薬局の推進
- ③ 多職種連携による薬局の在宅医療の取り組み
- ④ 健康サポート薬局の推進
- ⑤ 薬剤師認知症対応力向上研修会の開催
- ⑥ 高齢者サロン等でのお薬健康相談会実施  
など

## 3. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

地域包括ケアシステムの構築に向けて、薬剤師の職能を発揮すべく、研修会等を開催し資質向上を行うとともに、積極的に多職種と意見交換を行い、より連携を高められるよう努める。

かかりつけ薬剤師・薬局の資質の向上と在宅・介護の構築をはじめ、大分県医療計画・生涯健康県おおいた21などの目的達成に向けた施策等々を地域・職域薬剤師会との連携のもと遂行する。

# 公益社団法人 大分県理学療法士協会



会長

市川 泰朗

## I. 会の状況（平成31年3月31日時点）

[1] 会員数：1,597人

[2] 支部構成：6ブロック（大分、別府速見、県北、県南、久大、豊肥）

## II. 地域リハ関係の活動

### [1] 地域医療、地域保健及び社会福祉への協力に関する事業

1. 職場における腰痛予防セミナー
2. トランスファー研修会「起居移乗の動作介助技術 テクニック編 及び 福祉用具編」
3. 公開講座「運動で体力低下を防ごう！」
4. ウィメンズヘルス研修会「理学療法士が女性をみるために必要な知識～月経から産後まで～」
5. 大分県における理学療法士のスクールトレーナー活動に関する実態調査の実施
6. 大分県保健医療団体協議会主催「げんきフェア」・介護研修センターまつりへの協力  
①健康年齢チェック②体操指導③タペストリー展示④理学療法に関する相談会④記念品等の配付

### [2] 行政等他組織の事業への協力・支援

1. 高齢者福祉課主催 圏域別実践力向上研修会の講師
2. 介護労働安定センター健康確保ヘルスカウンセラー派遣「介護労働者の健康管理・腰痛予防対策」
3. 由布市介護予防事業に係る専門職派遣
4. 大分陸上競技協会主催 ジュニアオリンピックに係る強化合同練習会への派遣
5. 大分県アーチェリー協会主催 大分選抜チーム育成事業への派遣
6. 大分県体育協会メディカルチェック
7. 上野ヶ丘地域包括支援センター主催 体力測定会
8. 大分市長寿福祉課主催 サービス事業所実践力研修会の講師
9. 国東市一般介護予防事業（週一元気アップ教室）への派遣
10. 高齢者福祉課主催 臼杵市認知症ケア会議助言者
11. 高齢者福祉課主催 地域づくりによる介護予防推進のための指導者派遣
12. 高齢者福祉課主催 地域づくりによる介護予防多職種連携推進会議への参加
13. 歯科衛生士会主催 地域包括ケア推進における人材育成研修会の講師
14. 竹田市総合事業等サービス事業実践力向上研修の講師
15. 介護サービス事業所自立支援向上研修の講師
16. 津久見市介護予防リーダー研修会の講師
17. 東部保健所主催 別府市「広げよう！」地域でできる介護予防学習会の講師
18. 大分県看護協会主催 リスクマネージャー研修会「リスクにかかわる実践報告」の講師
19. 玖珠郡在宅医療連携 リハビリ部会「トランスファー研修会」の講師

20. 大分県社会福祉介護研修センター 介護職員現任者研修の講師
21. 大分県社会福祉介護研修センター サービス計画担当者研修の講師
22. 大分市長寿福祉課主催 地域介護予防リーダー研修 めじろん体操の実施
23. NPO法人自立支援センター 職員研修における腰痛体操 ふれあいサザンクロスへの派遣
24. 大分県看護協会主催 地域ケア会議参加者育成研修の講師
25. 大分県福祉保健部高齢者福祉課主催 「地域の介護予防活動支援マニュアル」の出張講座講師派遣
26. 介護認定審査会への認定委員派遣
27. 障がい者介護給付費等認定審査会への派遣
28. 地域ケア会議専門職種派遣
29. 大分県社会福祉協議会 社会福祉施設経営指導事業への参加
30. 国体、各競技団体、障がい者スポーツ大会におけるトレーナーサポート活動

### [3] 理学療法の知識の普及・啓発に関する事業

1. 平成30年度理学療法週間事業の開催（一般県民向：健康年齢チェック、タバストリー展示、高校生対象の施設見学、月刊ぷらご掲載、イベントポスターの作成・設置）
2. 知りたい自分のカラダ～介護予防・健康増進キャンペーン開催
3. 広報誌「志（こころざし）Vol. 9」発行及び発送（部数2,000部／会員施設、個人会員、会員外、県内中学校・高等学校、教育事務所へ送付）
4. ニュース「あおぞら」発行及び発送（部数2,000部／発行回数年04回／会員、会員所属施設、賛助会員、行政、マスコミ関係、関係団体へ送付）

### [4] 地域リハビリテーションの理解と実行に向けた事業

1. 関係会議、研修会運営等への出席派遣：大分県地域リハビリテーション研究会 運営部会、大分県リハビリテーション支援センター・地域リハビリテーション研究会合同研修会、大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会交流会・研究大会
2. 推進リーダー育成研修：①地域包括ケア：地域ケア会議に求められる理学療法士の役割、模擬会議他②介護予防：介護予防事業の取り組み・展開・企画立案・実践事例の紹介 他
3. 産業理学療法研修会開催：産業理学療法の基礎と実務について
4. 腰痛予防指導者育成研修会開催
5. 地域包括ケアシステム推進委員会・大分県リハビリテーション専門職団体協議会への事業協力（大分県地域ケア会議アドバイザー強化初任者研修・現任者研修（県委託事業）への事業協力・派遣

## Ⅲ. 地域リハの活動における課題・今後の取り組み

当会では、これまでに地域ケア会議、介護予防事業、ヘルスカウンセラー等に対して人的派遣を通して地域活動を行ってきました。この近年では、高齢者にとどまらず幅広い年齢層に対する予防・健康維持増進等を目的に産業理学療法、ウイメンズヘルスやスクールトレーナーといった領域での事業を展開しはじめています。今後の課題といたしましては、これらの事業に対する出向者のスキルアップも含めた「人材育成」が最大の課題となっています。また大分県リハビリテーション専門職団体協議会と連携を図りながら、地域包括ケアシステム構築の協力・支援も継続し、県民の方々が生涯を通じて健康で活力あふれる人生が送れるような事業を展開していきたいと考えております。



# 公益社団法人 大分県臨床検査技師会



会長

佐藤元恭

当会は、現在 807 名の会員を有し、職能団体及び学術団体として会員の技術向上に努めると共に県民の保健予防・疾病予防の早期発見のために日々それぞれの部門で活動を行っている。学術部、組織部は会員の専門的知識の向上や地区会員との交流を深める活動を行い、企画部は公益事業および職能集団として一般の方を対象に臨床検査・臨床検査技師についての理解を深めるための活動を行っています。

## 【学術部門】

学術部は生物化学、臨床一般、臨床血液、臨床微生物、臨床生理、輸血細胞治療、染色体・遺伝子、臨床検査総合、病理細胞部門の 9 部門において述べ 37 回の研修会を実施した。

講演会等については、平成 31 年 1 月に学術合同講演会を大分市において行い、創立 65 周年記念式典及び賀詞交歓会を開催した。2 月に別杵地区の担当で「精度保証認定施設について」の地区学術合同講演会を別府市にて開催し、講演会後に地区会員との交流会を行った。

各学会等においては、第 51 回大分県医学検査学会を平成 31 年 2 月に開催し、日本臨床衛生検査技師会（日臨技）九州支部活動として、日臨技九州支部医学検査学会 53 回を平成 30 年 10 月に当会が担当で別府市のビーコンプラザで開催した。台風の中、九州各県より 1,003 名の参加者があり盛会裏に終了する事が出来た。支部研修会は九州 8 県が輪番にて開催し、平成 31 年 1 月に輸血細胞治療部門の研修会を大分市で行い、九州各県より 60 数名の会員が集った。

県民医療の質の担保を担っている精度管理事業については、大分県医師会精度管理委員会と合同で 7 月に調査を行い、180 施設の参加があり、平成 30 年 12 月に第 31 回精度管理報告会を県医師会館にて開催し、各施設の精確度を確認した。また、臨床検査の質の向上に欠かせない標準化事業は、臨床検査データ標準化部会の 5 ブロック 8 施設が中心となり、参加 75 施設へ九州内の大学を中心とした 16 施設（大分県の目標値設定施設：大分大学附属病院・大分県立病院）で測定した目標値設定のプール血清を毎月配布し、継続して精度の確立を行い、外れた施設には 8 施設の各担当委員が指導等を行うと共に共用基準範囲に関する啓発も行っている。

## 【組織部】

組織部は、会員相互の親睦を図る事を目標に活動している。大分地区・別杵地区・県西地区・県北地区・県南豊肥地区の 5 ブロックで各地区の要望に沿った研修会、交流会を企画し、さらに、公益事業として各地区で開催される健康イベントも企画部と協力して行っている。今年度は、各ブロックで計 14 回の研修会を実施し、健康イベントは、“元気フェア”、“リレーフォーライフ”、“街角チェック”、別府市 C K D 予防講演会、竹田市の健康フェアなどに協力した。

## 【企画部】

企画部の活動は、日臨技委託公益事業として平成30年11月に全国「検査と健康展」を大分市で開催し、肺機能検査・血管年齢検査・頸部血管エコー・体成分計測・脈波図検査・骨密度検査・臨床検査専門医による健康相談・県栄養士会の協力による栄養相談を実施した。

県技師会の主催として“がん予防啓発”としてリレーフォーライフ大分へ「チーム検査deみつけ隊」を結成して10回目の参加となる。テント企画として、血管年齢、肺年齢を実施し、がん検診の受診を呼びかけるパンフレット等を配布した。

他団体への事業として大分県保健医療団体協議会（11団体）との“元気フェア”、保健医療団体協議会の創立20周年記念式典への協力、大分県地域リハビリテーション研修会の活動として「大分県リハ支援センター・地域リハ研究会合同研修会」、「大分県地域リハビリテーション研修会」の活動や地域で開催される健康イベントへの協力を行った。今年は竹田市・別府市に協力した。当会でやっている公益事業は、日臨技からの委託事業や大会主催の公益事業、他の医療団体との共同開催および市町村の健康イベントへの協力などがあり、今後も他団体との共同開催の公益事業には積極的に活動できる体制を整えていきたいと考えている。（今年度は、肺機能検査機器・骨密度の機器を公益事業費で購入した）。特に各市町村での健康イベントにつきましては、協力依頼をいただき、開催目的を確認した上で、希望に沿った検査内容を提案していきたいと考えています。

## 【今後の活動】

日本臨床衛生検査技師会（日臨技）の動きに合わせ、2030年度を見据えた臨床検査・臨床検査技師の在り方を視野に入れた事業展開を考えて行かなければと考えています。

平成25年度から全国展開している「検査と健康展」及び「検査説明・相談ができる臨床検査技師の育成」、平成26年度から臨床検査技師へのライセンス一部追加の指定講習会として「検体採取に関する厚生労働省指定講習会」が7支部9カ所で5年間開催され約8割の検査技師が受講した。また、昨年12月より通知された「臨床検査に関する法律の一部改正」が44年ぶりに施行され、臨床検査技師が精度管理者として法的に明記され、試薬台帳・検査機器保守作業書などの作成、2年間の保守義務、内部・外部精度管理は努力義務となったが、新たな道として技師の責任感が問われるようになった。これからは「検査精度に責任を持つ精度保証」から「品質保証」への一環の流れの中で「検査前の説明・採血及び検体採取・検査の実施・報告書の作成・検査結果の説明」を実践して、検査全般に責任を持つ業務を実践しなければと考えております。今後は中央検査室・検査部を中心とした業務体系から他職種連携への道が求められてくると考えられる。チーム医療に貢献できる環境整備が整ってきた中、如何に将来を見据えた職域拡大への取り組みを行うか、協力型業務から更に一步踏み込んだ真の地域医療への参画がこれからの臨床検査技師の在り方だと考える。そのためには、技師会の組織強化・他職種連携への研修会、医療・検査におけるニューリーダーの育成、患者様を目の前にしたベットのサイド職能講習会等、新たな業務に対する人材育成に力を注いでいかなければと考えております。

# 公益社団法人 大分県臨床工学技士会



理事長  
小 川 一

## 団体の現状

平成2年6月24日に「臨床工学に関する知識普及啓発並びに会員の学術技能の研鑽及び倫理の高揚を図り、もって大分県における福祉、医療の発展に寄与することを目的して大分県臨床工学技士会を設立し平成20年12月の公益法人制度改革の新制度施行に伴い、平成20年1月31日付けで広瀬勝貞大分県知事より社団法人大分県工学技士会の法人設立の拜命を受け公益事業を中心に社団法人大分県臨床工学技士会活動をおこない平成25年4月1日（月）付けで解散の登記及び設立の登記が完了し「公益法人社団大分県臨床工学技士会」として活動。現在会員数約350名となっている。正会員のほとんどが医療施設に勤務しており、臨床工学科や医療機器センター、透析室等に所属している。

## 平成30年度主な事業と取組

### I. 学術技能に関する事

1. 教育セミナーの開催 血液浄化・呼吸器・循環器・代謝の5件を開催した。
2. 平成30年10月6日  
大分県労働福祉会館ソレイユ  
第37回大分人工透析研究会支援参加協力
3. 第10回大分県臨床工学会の開催  
日 時：平成30年11月10日（土）～11月11日（日）  
場 所：別府ビーコンプラザ
4. 市民公開講座の開催  
日 時：平成30年11月11日（日）  
場 所：別府ビーコンプラザ 国際会議場  
テーマ：育ドル娘による「歌とダンスで食育を」  
演 者：立松 洋子先生

### II. 関連団体との交流に関する事

1. 災害対策に関する事
  - ・災害マニュアルの改訂を行った。
  - ・災害時透析患者カードの作成を行った。
  - ・平成30年9月1日・日本透析医会「災害時情報伝達訓練」に協力
  - ・“おおいた医療情報ほっとネット”を利用した災害時情報入力訓練に協力、（大分県福祉保健部健康づくり支援課と連携）事前に県内の施設に参加を呼び掛ける（災害ネットワークを利用）
  - ・「大分県透析医療第4回災害を考える日」を開催  
“大分県臨床工学技士会の取り組み”を報告

- ・平成30年9月災害時透析患者カード完成、配布
- ・平成30年11月13日「災害時における人工透析医療提供体制の確保に関する連絡会議」を中部保健所にて開催。

## 2. 各医療保険団体と交流を図り県民への公益事業を行う

(渉外部門)

### (1) 大分県地域リハビリテーション研究会

- ・運営部会への参加
- ・第15回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会  
日 時：平成30年7月15日(日)  
会 場：ホルトホール大分3階 大会議場  
テーマ「介護予防の未来～住民主体で支え合う地域づくりに向けて～」  
運営スタッフを派遣
- ・第8回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会  
日 時：平成31年1月19日(土)  
会 場：アイネス大会議室  
テーマ「地域連携に関わる薬剤師の取り組み」  
講 演「臼杵石仏ネットを利用した地域連携の取り組み」  
講 師：萬里薬局 神田 秀一郎氏  
「在宅医療における薬剤師の取り組み」  
講 師：ブンゴヤ薬局 荘司 晃寿氏  
運営スタッフを派遣

### (2) 大分県医療保険団体協議会

- ・平成30年度第1回大分県保健医療団体協議会 理事会への参加  
日 時：平成30年7月25日(水)  
会 場：大分県看護協会 研修センター  
内 容：平成29年度事業・決算報告・平成30年度事業計画(案)等
- ・大分県保健医療団体協議会創立20周年記念式典・祝賀会への参加  
日 時：平成31年3月3日(日)  
会 場：レンブラントホテル

### (3) 医工連携

- ・東九州メディカルバレー構想推進大会 参加  
日 時：平成31年2月12日(火)  
場 所：レンブラントホテル大分 2階二豊の間  
内 容  
基調講演  
演題1：「新生キヤノンメディカルシステムズの事業戦略  
～画像診断システムの進化と今後の展開～」  
講 師：キヤノンメディカルシステムズ(株) 取締役専務 信太 泰雄 様  
演題2：「経済産業省における医療機器・ヘルスケア産業政策について」  
講 師：経済産業省ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室長 富原 早夏 様  
医療関連産業新規参入促進セミナー  
演 題：「医療機器新規参入で当社が学んだ成功と失敗の要因」  
講 師：株式会社スズキプレシオン 取締役会長 鈴木 庸介 様

- ・公益財団法人 日本臨床工学技士会 臨学産連携推進委員会への協力  
第1回九州ブロック連携会議  
九州経済産業局への訪問、「医工連携に関する情報交換」  
日 時：平成30年9月6日（木）  
会 場：九州経済産業局新産業戦略課  
（福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎本館6階）
- ・日本臨床工学会臨学産連携推進委員会都道府県担当者会議への出席  
日 時：平成30年5月27日（日）  
会 場：神奈川県 横浜市 パシフィコ横浜（渉外・Yボード・え～らCE委員会の活動）
- ・平成30年7月12日  
組織委員・渉外合同会議（Yボード・え～らCE）開催 活動計画、役割分担等の件  
マイダスコミュニケーション会議室
- ・平成30年11月11日  
センターまつり&げんきフェア2018開催（Yボード）  
会 場：大分県社会福祉介護研修センター  
スタッフ6名 平松学生6名にて対応
- ・平成30年11月11日  
第10回大分県臨床工学会（え～らCE）  
「女性技士が活躍するためには」  
講演による女性活躍推進活動
- ・平成30年11月24日  
第4回分臨工懇親会開催（Yボード）  
場 所：個室焼鳥酒処 こはね 府内町店
- ・平成31年2月24日  
ボウリング大会（え～らCE）  
場 所：ラウンドワンスタジアム

## 今後の事業展開

### 雇用

職能団体として会員数の増加に繋がる県内雇用の創出に向けた取組を検討してまいります。

### 災害対策

大分県福祉保健部との連携によって、災害時における透析医療機関と患者様、ライフラインの情報収集ネットワークに取組んでまいりました。今後は状況設定訓練に取組み患者様の保護に努めてまいります。

### 行政との連携

専門職種として関連行政機関との連携を密にし、保健所においては職域における立入検査項目の共同検討に取組み、適正な医療環境を目指してまいります。

### 在宅医療

在宅領域では、今後ますます増加するニーズに対応するため、地域での情報共有を促進し実情に応じた体制作りが必要と考えています。職能団体として在宅医療にかかわる人材の確保・育成等により在宅透析を代表とする医療機器の安全面で国民の健康の保持に努めてまいります。

# 大分県臨床心理士会 (大分県公認心理師協会)



会長

小 野 貴美子

## 1. 会の現状

正会員 262名 (平成31年4月末 現在)

〔部門〕 災害、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働、研修、渉外、事務局

## 2. 地域リハ活動の報告

### (1) 会議への参加

- ・第16回拡大運営会議 平成30年5月16日(水) 14:00～16:30 (出席者:小野 貴美子会長)
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 30年度の役員会議・運営会議 井野辺病院  
役員会:年1回(出席者:北吉 直子) 運営部会:年3回(出席者:羽坂 雄介)

### (2) 研修会の参加・発表

- ・第15回大分県リハビリテーション支援センター・地域リハ研究会合同研修会  
日 時:平成30年7月15日(日)  
場 所:大分ホルトホール 大会議室  
テーマ:介護予防の未来～住民主体で支え合う地域づくりに向けて～  
\*参加:羽坂 雄介(湯布院病院)
- ・一般社団法人 日本臨床心理士会 第9回 医療保健領域担当者研修会  
日 時:平成30年12月2日(日) 10:30～16:00  
場 所:日本臨床心理士会2階研修室(東京都文京区本郷)  
内 容:「多職種連携コンピテンシーと多職種連携教育の実践」 宮城大学 大塚真理子  
・各県の取り組み報告:富山県、千葉県  
・グループ討論 \*参加:北吉 直子
- ・第8回大分県地域リハ・ケア研修大会  
日 時:平成31年1月19日(土)  
場 所:アイネス  
テーマ:「地域連携にかかわる薬剤師の取り組み」 \*参加:羽坂 雄介(運営部員)

### (3) 自主研修会の開催

- ・第12回 医療現場と「つながる」臨床心理士の集い  
「医療現場での心理士の働きを知ろう!」～互いの連携を深めリファーにもつなぐために～  
日 程:平成31年1月27日(日) 12:30～15:00

場 所：別府大学 1号館2階 21・22番教室  
・大分リハビリテーション心理研究会 年11回開催

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

平成30年9月9日に、国家資格「公認心理師」の第1回目の試験が実施され、令和元年度から「公認心理師」が誕生いたしました。それに伴い今年度より「大分県臨床心理士会」を改め、「一般社団法人 大分県公認心理師協会」として活動して参ります。会員は公認心理師と臨床心理士とで構成される団体となります。今後、新たな協会としてより会員の層を厚くし、地域で貢献できる活動を模索検討していきたいと考えています。

具体的には、病や障がいを抱える人々への生活を視野に入れた関わり（心理的支援、家族支援、地域医療や在宅に携わるスタッフへのメンタルサポートなど）を強化し地域医療・福祉サービスを担う一員となれるよう、また「地域包括ケアシステム」や「アウトリーチ活動」などにチームの一員として参加し地域リハビリテーション活動に参入していけるよう活動していく所存です。

令和元年度もより一層他職種との協働と連携を図り、地域で必要とされる職種を目指して努力していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

## 連絡先一覧

### 1. 県リハセンター・広域支援センター

#### ○大分県リハビリテーション支援センター（県リハセンター）

独立行政法人 地域医療機能推進機構 <b>湯布院病院</b> (旧：湯布院厚生年金病院) 〒 879-5193 大分県由布市湯布院町川南 252 TEL (0977-84-3171) FAX (0977-85-5880)
---

#### ○大分県地域リハビリテーション広域支援センター

圏域	地域	施設名	所在地	TEL/FAX
東部	東国東	国東市民病院	大分県国東市安岐町下原 1456	0978-67-1211 0978-67-3190
	別杵速見	農協共済別府リハビリテーションセンター	大分県別府市鶴見 1026-10	0977-67-1711 0977-67-1712
中部	大分	井野辺病院	大分県大分市中尾 255 番地	097-586-5522 097-586-5656
		大分リハビリテーション病院	大分県大分市大字志村 字谷ヶ迫 765 番地	097-503-5000 097-503-5888
	臼津	臼杵市医師会立コスモス病院	大分県臼杵市戸室 1131-1	0972-62-5599 0972-62-3928
南部	佐伯	長門記念病院	大分県佐伯市鶴岡町 1-11-59	0972-24-3000 0972-23-6640
豊肥	大野	社会医療法人 婦巖会みえ病院	大分県豊後大野市三重町赤峰 1250-1	0974-22-2222 0974-22-0222
	竹田	大久保病院	大分県竹田市久住町栢木 6026-2	0974-77-2341 0974-77-2247
西部	日田玖珠	大分県済生会日田病院	大分県日田市三和 643-7	0973-24-1100 0973-22-1269
北部	中津	川嵩整形外科病院	大分県中津市宮夫 17	0979-24-0464 0979-24-6258
	宇佐高田	佐藤第一病院	大分県宇佐市法鏡寺 77-1	0978-32-2110 0978-33-4918



## 2. 県内専門職能団体（拡大運営会議構成団体） 連絡先

（五十音順）

団体名	住所	TEL	FAX
(一社) 大分県医療ソーシャルワーカー協会	870-0307 大分市大字佐賀関 750-88 佐賀関病院内	097-575-1172	097-575-1154
大分県栄養士会	870-0912 大分市原新町 9 番 2 号	097-556-8810	097-556-8921
大分県介護支援専門員協会	870-1133 大分市大字宮崎 1367-1 甲斐ビル 215 号	097-504-7500	097-504-7501
大分県介護福祉士会	870-0921 大分市萩原 4-8-58 大分県整骨会館 3F	097-551-6555	097-547-9936
大分県看護協会	870-0855 大分市豊饒 310-4	097-574-7117	
大分県言語聴覚士協会	870-0048 大分市碩田町 1-1-27 3 階	097-529-7105	097-529-8109
大分県作業療法協会	870-0038 大分市西春日町 3-2 大分県作業療法協会ビル	097-547-8662	097-547-8663
大分県歯科医師会	870-0819 大分市王子新町 6-1	097-545-3151	097-545-3155
大分県歯科衛生士会	870-0819 大分市王子新町 6-1 大分県歯科医師会館内	097-545-3203	097-545-3203
大分県視能訓練士会	879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘 1-1 大分大学医学部附属病院眼科医局内	097-586-5904	
大分県地域包括・総合相談・居宅介護支援センター協議会	870-0907 大分市大津町 2-1-41	097-558-0300	097-558-6001
大分県地域リハビリテーション医師懇話会	870-0862 大分市中尾 255	097-586-5522	097-586-5656
大分県地域リハビリテーション研究会	870-0945 大分市津守 888-6 諏訪の杜病院内	097-567-1277	097-567-3066
大分県病院協会	870-8563 大分市駄原 2892-1 大分県医師会館内 (5F)	097-540-5526	097-540-5597
大分県放射線技師会	870-0844 大分市大字古国府 1155 番地の 1 (㈱マイダスコミュニケーション内)	097-574-7625	097-574-7715
大分県薬剤師会	870-0855 大分市大字豊饒字光屋 441-1	097-544-4405	097-544-1051
大分県理学療法士協会	870-0127 大分市大字森町 501-3	097-547-7797	097-521-9077
大分県臨床検査技師会	876-0857 佐伯市常盤西 11-20	0972-22-0547	0972-22-0614
大分県臨床工学技士会	870-0844 大分市大字古国府 1155 番地の 1 (㈱マイダスコミュニケーション内)	097-544-7070	097-567-1612
大分県臨床心理士会	870-0023 大分市大字長浜町 1 丁目 7-3 サンライズ長浜 401 号室	0977-67-0101	

※介護保険サービス事業所の連絡先は県庁ホームページの「介護保険指定事業所一覧」から検索ください。

※地域包括支援センター一覧表は大分県庁ホームページより検索ください。

大分県庁ホームページ  
www.pref.oita.jp

## 地域リハビリテーション 活動報告書(平成30年度版)

---

発行日 令和元年7月1日

発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター  
センター長 根橋良雄

編集 事務長 木下真一  
県リハ運営部長 神田真一  
運営部事務長兼運営部長補佐 會川裕子  
支援連携室 吉村修一

由布市湯布院町川南 252  
JCHO 湯布院病院内  
TEL 0977-84-3171  
FAX 0977-85-5880

---



地域リハビリテーション活動報告書(平成30年度版)

発行日 令和元年7月1日

発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター  
センター長 ……………根橋 良雄

編集 事務長 ……………木下 真一  
県リハ運営部長 ……………大隈 和喜  
副運営部長 ……………神田 真一  
運営部事務長兼運営部長補佐 ……會川 裕子  
支援連携室 ……………吉村 修一

由布市湯布院町川南252 JCHO湯布院病院内

TEL:0977-84-3171 FAX:0977-85-5880